

教科：国語

科目：現代の国語

3

単位

対象学年組：第

1 学年

1 組

教科担当者：

使用教科書：

（ 現代の国語（出版社：大修館書店） ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	水の東西 【知識・技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。	叙述を的確にとらえる。 具体と抽象を把握し、文章の要点を的確にまとめる。	○水を「造型する／しない」という対比が日本と西洋の水のとらえ方の違いに結びつくことを理解している。 ○水が目に見える／見えない」という対比が「鹿おどし」の特徴に結びつくことを理解している。 ○日本と西洋の水のとらえ方にどのような違いがあるかを理解している。 ○鹿おどしが「日本人が水を鑑賞する行為の極致を表わす仕掛け」といえる理由を理解している。	○	○	○	6
	発想を広げる 【知識・技能】 ・出されたアイディアのそれぞれの関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、様々な観点から情報を整理し、内容を検討している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・アイディアを出したり表現したりすることを通して、アイディア同士の関係をふまえた様々な観点から粘り強く検討して発想をさらに広げる中で、自らの学習を調整しようとしている。	他者と意見を交流し、アイディアを出し合う。 アイディアを整理し、さらに発想を広げる。	○出されたアイディアの関係について、おおむね理解している。 ○出されたアイディアについて整理するために、おおむね適切な観点を設定している。 ○アイディアを出す上で観点を設定し整理することの重要性を認識し、今後の言語生活に活かそうとしている。	○	○	○	3
	意見を書く 【知識及び技能】 ・文例および自分の作文において主張と根拠とを指摘できている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「書くこと」において、論理展開を工夫し、読み手が理解しやすい文章が書けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意見文の相互評価および単元の総括をととして、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	構成や展開を意識して文章を書く。 根拠を明確にして、自分の意見を書く。	○文例の中から主張および根拠といえる情報を指摘している。自分の作文では根拠に不足があるものの、主張は明示している。 ○理解のしやすさについて、大きな欠陥がない構成を作文に実現している。 ○ワークシートの「反省」の記述および単元総括のノートの記述を、活動の趣旨に沿ったものにしようとしている。	○	○	○	3
	プラスチック汚染からは逃れられない 【知識及び技能】 ・文例および自分の作文において主張と根拠とを指摘できている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「書くこと」において、論理展開を工夫し、読み手が理解しやすい文章が書けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意見文の相互評価および単元の総括をととして、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	構成や展開を意識して文章を書く。 根拠を明確にして、自分の意見を書く。	○文例の中から主張および根拠といえる情報を指摘している。自分の作文では根拠に不足があるものの、主張は明示している。 ○理解のしやすさについて、大きな欠陥がない構成を作文に実現している。 ○ワークシートの「反省」の記述および単元総括のノートの記述を、活動の趣旨に沿ったものにしようとしている。	○	○	○	5
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	人間と自然の関係を通して考える 【知識・技能】 ・主張と根拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理展開についての確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理的な文章を書くことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	主張と根拠、理由づけの関係に着目し、論理展開をとらえる。	○本文中の主張と根拠の関係を理解している。 ○本文の前段と後段における推論の型を理解している。 ○本文における情報の関係に注意しながら、内容や展開をとらえている。 ○論理展開を把握する際に何が重要であるかを考えようとしている。	○	○	○	4
	「安くておいしい国」の限界 【知識・技能】 ・文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。	資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。	○文章の記述と図表の内容がどのように対応しているかを理解している。 ○文章と図表の情報の対応関係を検討し、内容を解釈している。 ○図表について自分の考えをもち、深めている。 ○図表を伴う文章を読む際に重要な点を考えようとしている。	○	○	○	4
	インターネット時代の音楽産業 【知識・技能】 ・本文における主張と根拠の資料との関係について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、本文の構成に注意して読み、資料援用の意図を解釈できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・単元のねらいを理解し、主体的に学習活動に取り組んでいる。	資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。	○グラフが主張の根拠を示す資料として援用されていることを理解している。 ○一般的に文章にグラフが援用される意図について想定できる。 ○学習課題に沿って自分の考えをノートに整理しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	統計資料を基に意見を書く 【知識・技能】 ・根拠として統計資料を引用することの必要性を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、主張を支える根拠として統計資料から適切な情報を抽出できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意見文の振り返りおよび単元の総括をととして、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	統計資料を正確に読み取り、読み取った情報を組み合わせたり、比較したりして、的確な主張を生み出す。 統計資料を根拠として、自分の主張を書く。	○根拠として統計資料を引用することの必要性について、授業者の解説をふまえてまとめられる。 ○統計資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。 ○諸学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。	○	○	○	5
	発表 【知識及び技能】 ・伝達する際に必要な情報を抽出することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、主張を支える根拠を提示できている。 ・「話すこと」において、自分の主張を周囲に伝えることができる。 ・「聞くこと」において、相手の主張を聞いて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の主張を伝えようとすると同時に、相手の主張を開こうとする姿勢がみられる。	学習した内容からもった自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。	○根拠を提示することの必要性について理解したうえでまとめられている。 ○資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。 ○諸学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。	○	○	○	3

2 学 期	他者を理解すること 【知識・技能】 ・個別の情報と一般化したり、一般化された抽象的な情報を具体化したりしている。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、質問をしつつ論理展開を予想しながら相手の回答を聞き、聞き取った情報を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・得られる情報や効果とともに、質問をしつつ、自分自身の質問の仕方について積極的に振り返ろうとしている。	質問の目的を明確にする。 目的に沿った質問をして知りたかったことへの理解を深める。	○インタビュー時に、相手の話を一般化し、抽象的な回答を具体的に掘り下げられる。 ○不足している情報と考えながら回答を聞き、質問することでその情報を得られる。 ○質問によって得られる情報と、質問をすることで相手に与える効果を考えようとしている。	○	○	○	2
	状況に応じた通信文を書く 【知識・技能】 ・通信文に適した語彙を身につけ、使いこなしている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的達成のために媒体の特徴を生かした表現を考えて工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・媒体ごとの体裁/特徴や適切な語彙を理解した上で、読み手の目線から最適な表現を試みようとしている。	通信文の基本的なルールを知る。 相手や場面に応じた通信文を書く。	○一般的に使用される時候の挨拶や格調高い表現などを積極的に取り入れて通信文を作成できる。 ○便箋の手紙、メール、案内状それぞれの体裁にのっとって通信文を作成できる。 ○手書きの手紙のもつあたたかみや、案内状の格調高さ、メールの親しみやすさなどを理解した上で、伝えるべき内容や言葉遣いを考えて表現できる。 ○媒体ごとの特徴や通信文に適した語彙を理解し、積極的に用いようとしている。 ○相互評価において、読み手目線での印象を伝えようとしている。	○	○	○	5
	「美しさの発見」について 【知識・技能】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。	○筆者の主張と、筆者の示す具体例との関係を理解している。 ○筆者の述べる「美しさ」についての二つの考え方を理解している。 ○「脳は美をどう感じるか」とあわせて読み、「美しさ」についての両者の主張を理解している。 ○複数の文章から、情報を読み取ろうとしている。	○	○	○	7
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	空気を読む 【知識・技能】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。	○筆者の主張と、筆者の示す具体例との関係を理解している。 ○筆者の述べる「空気を読む」ことの現状と問題点について理解している。 ○「『個人』から『分人』へ」とあわせて読み、「人と人とのコミュニケーション」についての両者の主張を理解している。 ○複数の文章や資料から、情報を読み取ろうとしている。	○	○	○	5
	説得力のある資料を作る 【知識・技能】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法および表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の考えやことがらが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えたとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、課題に沿った「提案に必要な要素」を挙げようとしている。	提案を検討する際に必要な要素を提示させる。 効果的な表現や資料の提示のしかたを工夫する。	○提案する相手やねらいに応じた語句や表記のしかたを選んで企画書を作成している。 ○提案する内容と想定される結果を、資料を示して記述している。 ○現状の問題点が分析され、目指す理想像を実現するための提案と根拠が示されている。 ○企画書に必要な項目が挙げられ、必要な情報が図表やグラフなどを用いて示されている。 ○学習課題に沿って積極的に、自分や他者の提案における「必要な要素」を確かめようとしている。	○	○	○	3
	発表 【知識及び技能】 ・伝達する際に必要な情報を抽出することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、主張を支える根拠を提示できている。 ・「話すこと」において、自分の主張を周囲に伝えることができている。 ・「聞くこと」において、相手の主張を聞いて理解することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の主張を伝えようとすると同時に、相手の主張を聞こうとする姿勢がみられる。	学習した内容からもった自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。	○根拠を提示することの必要性について理解したうえでまとめられている。 ○資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。 ○諸学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。	○	○	○	2
	解説を取り戻す 【知識・技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。	文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。	○筆者の主張がどのような情報の引用によって支えられているか読み取っている。 ○「消費」と「浪費」がどのように違うか、理解している。 ○「解説を取り戻す」ことの意義とその方法について、筆者の主張を読み取っている。 ○情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。	○	○	○	6
	言葉についての新しい認識 【知識・技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。	文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。	○言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ○筆者の主張がどのような情報の引用によって支えられているか読み取っている。 ○「平均的な言語の定義」と、それに対する言語についての「新しい認識」について理解している。 ○情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	文章を読み取って主張を書く 【知識・技能】 ・読み手に伝わりやすい主張の組み立て方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手からの評価を踏まえ、自身の意見文の特長・課題を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意見文の振り返りおよび単元の総括を通して、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	他者の主張をふまえて、自分の考えを書く。	○相互評価の活動をふまえ、自分の意見文の良かった点・改善すべき点を具体的に把握している。 ○自身の意見文の特長・課題について、自分の言葉でまとめている。 ○諸学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。	○	○	○	6

3 学 期	【知識・技能】 ・主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて文中の情報を関連付けながら内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成したり修正したりすることに活用しようとしている。	目標に即して、文章から必要な情報を読み取る。 読み取った情報を活用する。	○「日」と「文化の中にある感覚の資源」との関係を読み取り、筆者の主張の根拠の信頼性や妥当性について、評価している。 ○授業で示されたテーマに対する自分の「考え」について、根拠となる事柄の信頼性や妥当性を確かめたり吟味したりしている。 ○自分の求める情報を適切に取り出し、内容や書き手の意図を適切に解釈している。 ○授業で示されたテーマについての自分の考えを、文章の内容を関連付けて表現している。 ○授業で示されたテーマについて、級友との対話を通して粘り強く考えようとしている。	○	○	○	6
	作業ロボットの悲劇 【知識・技能】 ・主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて文中の情報を関連付けながら内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成したり修正したりすることに活用しようとしている。	目標に即して、文章から必要な情報を読み取る。 読み取った情報を活用する。	○現在の人工知能に可能なこととフレーム問題について読み取り、筆者の見解の信頼性や妥当性について、評価している。 ○授業で示された「問い」に対する自分の「考え」について、根拠となる事柄の信頼性や妥当性を確かめたり吟味したりしている。 ○自分の求める情報を適切に取り出し、内容や書き手の意図を適切に解釈している。 ○授業で示されたテーマについての自分の考えを、文章の内容を関連付けて表現している。 ○授業で示されたテーマについて、級友との対話を通して粘り強く考えようとしている。	○	○	○	6
	レポートを書く 【知識・技能】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を通して、文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを書くことを通じて、文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を工夫している。	適切な情報を集め、問いを立てる。 調べたことを根拠として、問いを解決するレポートを書く。	○文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ○引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 ○「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えている。 ○「書くこと」において、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 ○レポートを書くことを通じて、文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	6
	発表 【知識及び技能】 ・伝達する際に必要な情報を抽出することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、主張を支える根拠を提示できている。 ・「話すこと」において、自分の主張を周囲に伝えることができる。 ・「聞くこと」において、相手の主張を聞いて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の主張を伝えようとすると同時に、相手の主張を聞くという姿勢がみられる。	学習した内容からもった自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。	○根拠を提示することの必要性について理解したうえでまとめられている。 ○資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。 ○諸学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。	○	○	○	3
	年間授業内容の総復習 【知識及び技能】 ・年間の学習内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・状況に応じた技術の活用ができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分から積極的に問をきく姿勢がみられる。	提示された問題や質問に対し、発言・発表を確に行う。	○文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ○引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 ○「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えている。 ○「書くこと」において、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	○	○	○	5
	定期考査・テスト返却			○	○		2

115

【知識及び技能】	【思考力・判断力・表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
作品の構成や語り手に注目しながら、場面の展開に沿って登場人物の心情の変化を適切に読み取ることができる。	作品や文章に表れているものの見方、感じ方考え方をとらえ、適切に内容を把握することができる。	言葉が持つ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身に付けるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	世界を見渡す意 【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・叙述を的確にとらえる。 ・言語と文化の関係について、筆者の考えを読み取る。 ・主張と根拠、理由づけの関係に着目し、論理展開をとらえる。	○文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ○我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。				3
	文字の深掘 【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・読書についての筆者の考えを読み取る。 ・主張と根拠、理由づけの関係に着目し、論理展開をとらえる。	○文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ○我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。				3
	臨生門 【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・場面ごとの人物の心情の変化を読み取る。 ・学習した内容からもった自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。	○常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。				4
	平治拾遺物語 児のそら寝／絵師良秀 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評価したりする活動。 【主体的に学習に取り組む態度】 定期考査・テスト返却	・古文の文体や仮名遣いに慣れる。 ・作者の伝えたいことをとらえる。	○古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ○作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 ○異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評価したりしている。				4
	今昔物語集 阿蘇の史、盗人にあひてのがること 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評価したりする活動。 【主体的に学習に取り組む態度】 定期考査・テスト返却	・古文の文体や仮名遣いに慣れる。 ・作者の伝えたいことをとらえる。	○古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ○作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 ○異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評価したりしている。				4
	私たちと漢文 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。	・日本人の言語生活と、漢字・漢文の関わりを理解する。	○我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。				2
	論語・孟子 訓読のきまり①返り点の種類と用法、訓読のきまり②再読文字の種類と用法、訓読のきまり③主な助字の種類と用法 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。	・漢文訓読のきまりを理解し、その口調やリズムに親しむ。 ・名言を味わい、現代に生きている言葉や考え方について理解を深める。	○我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ○文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ○作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ○作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 ○作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。				4
	定期考査・テスト返却						2
	実体の美と状況の美 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本人と西欧人の美意識の違いについて学習した内容をもとにして、自らの「美」に対する考え方を深めようとしている。	・叙述を的確にとらえる。 ・美についての筆者の考えを読み取る。	○我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ○我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。				4

2 学 期	発表 【知識及び技能】 ・伝達する際に必要な情報を抽出することができている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「書くこと」において、主張を支える根拠を提示できている。 ・「話すこと」において、自分の主張を周囲に伝えることができる。 ・「聞くこと」において、相手の主張を聞いて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の主張を伝えようとすると同時に、相手の主張を聞こうとする姿勢がみられる。	・学習した内容からもらった自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。	○根拠を提示することの必要性について理解したうえでまとめられている。 ○資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。 ○諸学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。	○	○	○	3
	枕草子 雪のいと高う降りたるを 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。	・自然の情景に対する作者の感覚をとらえる。 ・作者の人物像をとらえる。	・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。	○	○	○	4
	第十夜 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読もうとしている。	・作品の表現に着目しながら読む。	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	○	○	○	3
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	青が消える (Losing Blue) 【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・作品が暗示しているものについて理解を深める。	○文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ○我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。	○	○	○	3
	伊勢物語 茶川／あづまり (参考)かきつばたの折角／筒井筒 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。	・旅の行程を整理する。 ・物語の内容を読み取り、登場人物の関係を理解する。 ・歌に込められた登場人物の思いをとらえる。 ・和歌の修辭技法と、その効果を理解する。 ・物語中に表れる古典世界の恋愛・結婚のあり方をとらえる。	○我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ○作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ○作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	○	○	○	4
	十八史略 完壁／龜鳴鶴盛／臥薪嘗胆 【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などに	・音読して漢文訓読のリズムに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 ・話の展開をとらえ、作者が話に込めた意図を読み取る。 ・故事成語の意味や日本への影響を理解する。	○言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 ○我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 ○古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ○文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ○作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ○作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	○	○	○	4
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	発表 【知識及び技能】 ・伝達する際に必要な情報を抽出することができている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「書くこと」において、主張を支える根拠を提示できている。 ・「話すこと」において、自分の主張を周囲に伝えることができる。 ・「聞くこと」において、相手の主張を聞いて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の主張を伝えようとすると同時に、相手の主張を聞こうとする姿勢がみられる。	・学習した内容からもらった自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。	○根拠を提示することの必要性について理解したうえでまとめられている。 ○資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。 ○諸学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。	○	○	○	3
	セメント樽の中の手紙 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。	・作品の時代背景と、登場人物との関係を理解する。 ・会話文や手紙から、登場人物の状況や心情を理解する。	○我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ○作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。	○	○	○	4
3 学 期	土佐日記 門出 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色につ	・旅にでるまでのならわしについて知る。 ・日記の形態や書き手の設定に着目し、その効果について考える。	○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ○文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ○文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	○	○	○	3
	更級日記 あこがれ 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色につ	・旅立ちに際しての思いを読み取る。 ・作者にとって京への旅がどのような価値をもつものであったのかを理解する。	○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ○文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ○文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	○	○	○	3
	年間授業内容の総復習 【知識及び技能】 ・年間の学習内容を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・状況に応じた技能の活用ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分から積極的に向き合う姿勢がみられる。	提示された問題や質問に対し、発言・発表を的確に行う。	○文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ○引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深められている。 ○「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えている。 ○「書くこと」において、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	○	○	○	3
	定期考査・テスト返却			○	○		2

教科：国語

科目：論理国語

2

単位

対象学年組：第

3 学年

1 組

教科担当者：

使用教科書：

（新編 論理国語（出版社：大修館書店））

教科：国語

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目：論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
作品の構成や語り手に注目しながら、場面の展開に沿って登場人物の心情の変化を適切に読み取ることができる。	作品や文章に表れているものの見方、感じ方考え方をとらえ、適切に内容を把握することができる。	言葉が持つ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身に付けるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	知の登山、知の水路 【知識・技能】 ・「学ぶ」ことについての筆者の考えを読み取る。 ・これからの学習で取り組みたいこと、興味のあることについて考える。 【判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○本文を三つの段落に分けて整理し、文章の構成や展開のしかたを理解した上で、各段落について適切な小見出しをつける。 ○筆者の主張をふまえて、「学ぶ」とはどのようなことか、今後の高校生活で何を学んでいくのかなどについて、自分の考えを深める。 ○「知識への水路」が指す内容を的確に読み取り、自分の体験などと重ねて具体的にとらえる。	【知識・技能】 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 【(1)エ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学ぶことについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	○	○	○	3
	「論理的な人」とはどういう人か 【知識・技能】 ・「論理」についての筆者の考えを読み取る。 ・筆者の主張をふまえて、それからの学習に興味をもつ。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○接続表現の意味と役割を確認した上で、文章などで適切に用いる。 ○「論理的／非論理的」という言葉の意味について、筆者の主張をふまえて、実生活と関連づけて自分なりに考察を深める。 ○筆者の考える「ことば」の特性や「意味のネットワーク」について理解し、それに対する自分の考えをもつ。 ○「論理」とは何かを理解し、「論理的」に考えることの意味について	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を伸ばそうとしている。	○	○	○	4
	具体と抽象の関係 【知識・技能】 ・具体と抽象の関係について考えを深める。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○「例えば」「つまり」など、具体と抽象を表す接続表現について理解し、自分でも適切に用いている。 ○設問1において、教科書の図をもとに具体と抽象の関係をとらえた上で、自分なりに図の続きを考えたりすることで、理解を深めている。	【知識・技能】 ・具体と抽象の関係を示す語句や表現について理解し使っている。【(1)イ】 ・情報を抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。【(2)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、具体と抽象の関係を適切に把握しながら、要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、具体と抽象の関係について理解を深めようとしている。	○	○	○	4
	ウサギの耳はなぜ長い？ 【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするための語彙力を増やす。 ・情報を重要度や抽象度などで階層化して整理する方法を理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・共進化についての筆者の考えを読み取り、具体と抽象の関係を理解する。	○具体例の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ○文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。【(2)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・共進化についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係をとらえようとしている。	○	○	○	5
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	記号的メディアと物理的メディア ・具体と抽象を示す語句や表現を理解する。 ・文章を読む中で具体と抽象の関係をとらえる。 ・文章の内容を整理する方法について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、具体と抽象の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえる。 ・論点を明確にしながら要旨を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・メディアについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係をとらえる。	○具体例の働きを的確にとらえ、具体と抽象の関係についての理解を深める。 ○文章の構成や展開のしかたに注目しながら、筆者の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・具体と抽象を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で具体と抽象の関係をとらえる助けとしている。【(1)イ】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。【(2)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、具体と抽象の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・メディアについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係をとらえようとしている。	○	○	○	4
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	発表 【知識及び技能】 ・伝達する際に必要な情報を抽出する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、主張を支える根拠を提示する。 ・「話すこと」において、自分の主張を周囲に伝える。 ・「聞くこと」において、相手の主張を聞いて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の主張を伝えようとすると同時に、相手の主張を聞こうとする。	・学習した内容からもった自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。	・根拠を提示することの必要性について理解したうえでまとめられている。 ・資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。 ・諸学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。	○	○	○	3

2 学 期	対話の精神 【知識・技能】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読みとる。 ・対比関係や論理展開を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえる。 ・論点を明確にしながら要旨を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コミュニケーションについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとらえる。	・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コミュニケーションについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとらえようとしている。	○	○	○	4
	デジタル地図から見える世界 【知識・技能】 ・対比を示す語句や接続表現に注目しながら、対比関係や論理展開をとらえる。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確に理解している。 ・論点を明確にしながら要旨を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・デジタル地図についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとらえる。	・対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。 ・文章の構成や展開のしかたに注目しながら、筆者の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・デジタル地図についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとらえようとしている。	○	○	○	4
	人工の自然—科学技術時代の今を生きるために 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・科学技術についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張と根拠の関係をとらえる。	・主張と根拠の関係を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・科学技術についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張と根拠の関係をとらえようとしている。	○	○	○	5
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	考える輩」であり続ける 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・デジタル社会についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張と根拠の関係をとらえる。	・筆者の主張と、それを支える根拠の役割を的確にとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。【B(1)ウ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・デジタル社会についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張と根拠の関係をとらえようとしている。	○	○	○	4
3 学 期	さまざまな時代から質の時代へ 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・消費意識についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係をとらえる。	・さまざまな統計資料を本文と関連づけながら読む。 ・統計資料と筆者の主張の関係を的確にとらえる。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。【B(1)イ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・消費意識についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係をとらえようとしている。	○	○	○	5
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	発表 【知識及び技能】 ・伝達する際に必要な情報を抽出する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、主張を支える根拠を提示する。 ・「話すこと」において、自分の主張を周囲に伝える。 ・「聞くこと」において、相手の主張を聞いて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の主張を伝えようとすると同時に、相手の主張を聞くこととする。	・学習した内容からもった自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。	○根拠を提示することの必要性について理解したうえでまとめられている。 ○資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。 ○諸学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。	○	○	○	3
	若者の「海外旅行離れ」は本当か？ 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・海外旅行離れについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係をとらえる。	・文章と統計資料の関係を的確に読み取る。 ・データのまとめ方によって、主張が変わることを理解する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。【B(1)イ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・海外旅行離れについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係をとらえようとしている。	○	○	○	5
	紙の本はなくなる 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、紙の本についての筆者の考えを読み取る。	・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。【B(1)ウ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、紙の本についての筆者の考えを読み取るようとしている。	○	○	○	4
3 学 期	年間授業内容の総復習 【知識及び技能】 ・年間の学習内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・状況に応じた技術の活用が定着している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分から積極的に向き合う姿勢がみられる。	提示された問題や質問に対し、発言・発表を的確に行う。	○文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ○引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 ○「書くこと」において、自分の考えや事柄を的確に伝えるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えている。 ○「書くこと」において、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	○	○	○	3
	定期考査・テスト返却			○	○		2

教科：国語 科目：論理国語

2 単位

対象学年組：第 4 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：

（ 新編 論理国語（出版社：大修館書店） ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
作品の構成や語り手に注目しながら、場面の展開に沿って登場人物の心情の変化を適切に読み取ることができる。	作品や文章に表れているものの見方、感じ方考え方をとらえ、適切に内容を把握することができる。	言葉が持つ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身に付けるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	探究する力 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・探究についての筆者の考えを読み取ることに関心をもち、自分の思いや考えを広げたり深める。	・筆者の問題意識をとらえ、主張を読み取る。 ・読み取ったことをふまえて、自分の思いや考えを深める。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・探究についての筆者の考えを読み取ることに関心をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	○	○	○	3
	補助線を引きながら考える 【知識・技能】 ・自らの考えを論証するために必要な語句の働きを理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の示す現代社会の問題を自分事としてとらえ、筆者の主張を主体的に読み取ろうとするとともに、実生活でのさまざまな問いに対して補助線を引いて積極的に考える。	・筆者の問題意識をとらえ、主張を読み取る。 ・読み取ったことをふまえて、自分の思いや考えを深める。	【知識・技能】 ・自らの考えを論証するために必要な語句の働きを理解し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の示す現代社会の問題を自分事としてとらえ、筆者の主張を主体的に読み取ろうとするともに、実生活でのさまざまな問いに対して補助線を引いて積極的に考えようとしている。	○	○	○	4
	和の思想、問の文化 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討する。 ・文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の伝統的な考え方についての筆者の考えを読み取ることに関心をもち、筆者の主張を支える根拠・論拠をとらえる。	・筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味する。 ・論の展開のしかたや具体例の役割について考える。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の伝統的な考え方についての筆者の考えを読み取ることに関心をもち、筆者の主張を支える根拠・論拠をとらえようとしている。	○	○	○	4
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	ミロのヴィーナス 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討する。 ・文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美についての筆者の考えを読み取ることに関心をもち、筆者の主張を支える根拠・論拠をとらえる。	・筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味する。 ・論の展開のしかたや具体例の役割について考える。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美についての筆者の考えを読み取ることに関心をもち、筆者の主張を支える根拠・論拠をとらえようとしている。	○	○	○	4
	人類の進化から考える「心」の誕生 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、「心」についての筆者の主張を、根拠や結論を導く論拠を明確に理解した上で批判的に検討し、内容についての理解を深める。 ・文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・心についての筆者の考えを読み取ることに関心をもち、関連する文章との比較をとおして自分の考えを述べる。	・複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。 ・問題提起と答えとの関係の確にとらえ、自分の考えをもつ。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、「心」についての筆者の主張を、根拠や結論を導く論拠を明確に理解した上で批判的に検討し、内容についての理解を深めている。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・心についての筆者の考えを読み取ることに関心をもち、関連する文章との比較をとおして自分の考えを広げようとしている。	○	○	○	4
	ロボットに心はあるか 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討する。 ・文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・心についての筆者の考えを読み取ることに関心をもち、関連する文章との比較をとおして自分の考えを述べる。	・複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。 ・具体例と主張の関係をとらえ、自分の意見をもつ。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、「心」についての筆者の主張を、根拠や結論を導く論拠を明確に理解した上で批判的に検討し、内容についての理解を深めている。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・心についての筆者の考えを読み取ることに関心をもち、関連する文章との比較をとおして自分の考えを広げようとしている。	○	○	○	4
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	志望先への提出書類、志望理由書・自己推薦書を書く 【知識及び技能】 ・書類作成のための知識を整理し、体裁の整ったものを作る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、志望理由、自己推薦理由を明確にする。 ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたなどを工夫し、志望理由、自己推薦理由を的確に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・収集した情報を適切に用い、相手の印象に残る志望理由・自己推薦書を書く。	・進路で必要とされる書類についての概要を知り、それぞれの目的をつかむ。	【知識・技能】 ・自らの進路に応じて、志望理由書や自己推薦書を書くために必要な語句の量を増し、語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、進路活動に必要な書類の情報を収集、整理して、必要となる書類を把握している。〔A(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進路で必要とされる書類について、積極的に知ろうとしている。	○	○	○	3

2 学 期	クオリティと心 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、「心」についての筆者の主張を、根拠や結論を導く論拠を明確に理解した上で批判的に検討し、内容についての理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・心についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、関連する文章との比較をとおして自分の考えを述べる。	・複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。 ・独特の概念や筆者の主張を的確にとらえ、自分の考えをもち。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだらするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・「読むこと」において、「心」についての筆者の主張を、根拠や結論を導く論拠を明確に理解した上で批判的に検討し、内容についての理解を深めている。〔B (1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・心についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、関連する文章との比較をとおして自分の考えを広げようとしている。	○	○	○	4
	問いを立てて書く—テーマ型小論文 【知識・技能】 ・小論文における、文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかた、抽象的なテーマから問いを立てる方法について理解する。 ・テーマ型小論文における、効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分で立てた問いについて、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・これまでの「書くこと」の学習をもとに、自ら問いを立て小論文を書く。	・テーマをもとに問いを立てて小論文を書く。 ・抽象的なテーマから問いを立てる方法を身につける。	【知識・技能】 ・小論文における、文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかた、抽象的なテーマから問いを立てる方法について理解を深めている。〔(1)ウ〕 ・テーマ型小論文における、効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分で立てた問いについて、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。〔A (1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・これまでの「書くこと」の学習をもとにして、自ら問いを立て、小論文を書くこととしている。	○	○	○	3
	政治の本質 【知識・技能】 ・自らの主張を論理的に述べるために必要な語句に目を向けて語彙を増やす。 ・論理の展開において、主張と主張の根拠となる資料との関係について理解を深める。【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・政治についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、現代社会についての自分の考えを述べる。	・筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深める。 ・発想のしかたや論理の展開に注意して、筆者の主張を読み取る	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだらするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・政治についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、現代社会についての自分の考えを広げようとしている。	○	○	○	4
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	「である」ことと「する」こと 【知識・技能】 ・自らの主張を論理的に述べるために必要な語句に目を向けて語彙を増やす。 ・論理の展開において、主張と主張の根拠となる資料との関係について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・政治についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、現代社会についての自分の考えを述べる。	・筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深める。 ・発想のしかたや論理の展開に注意して、筆者の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだらするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・政治についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、現代社会についての自分の考えを広げようとしている。	○	○	○	4
	人口減少社会の到来 【知識・技能】 ・自らの主張を論理的に述べるために必要な語句に目を向けて語彙を増やす。 ・論理の展開において、主張と主張の根拠となる資料との関係について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、「人口減少社会」という現代の日本が抱える課題に対する筆者の考えを的確に把握する。 ・新しく得た知見やものの見方をとおして、自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「人口減少」についての筆者の考えを的確に読み取ることに興味をもち、定期考査・テスト返却	・日本社会や世界が抱える課題に関心をもち、考えを広げたり深めたりする。 ・さまざまな資料を参照しながら文章を読み、筆者の考えをと	【知識・技能】 ・自らの主張を論理的に述べるために必要な語句に目を向け、文章の中での使われ方を理解することをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・論理の展開において、主張と主張の根拠となる資料との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、「人口減少社会」という現代の日本が抱える課題に対する筆者の考えを的確に把握し、新しく得た知見やものの見方をとおして、自分の考えを深めている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「人口減少」についての筆者の考えを的確に読み取ることに興味をもち、自らが暮らす地域社会が抱える課題について目を向け、自分の考えを広げようとしている。	○	○	○	4
	発表 【知識及び技能】 ・伝達する際に必要な情報を抽出する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、主張を支える根拠を提示する。 ・「話すこと」において、自分の主張を周囲に伝える。 ・「聞くこと」において、相手の主張を聞いて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の主張を伝えようとすると同時に、相手の主張を開こうとする。	・学習した内容からもった自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。	○根拠を提示することの必要性について理解したうえでまとめられている。 ○資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。 ○諸学習活動に対して積極的に取り組みようとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。	○	○	○	3
	未来の地図帳 【知識・技能】 ・自らの主張を論理的に述べるために必要な語句に目を向けて語彙を増やす。 ・論理の展開において、主張と主張の根拠となる資料との関係について理解を深める。【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、社会について、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人口減少についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日本社会や世界が抱える課題について、自分の考えを述べる。	・日本社会や世界が抱える課題に関心をもち、考えを広げたり深めたりする。 ・本文中の数値や地図を的確に読み取り、筆者の主張をつかむ。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだらするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、社会について、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人口減少についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日本社会や世界が抱える課題について、自分の考えを広げようとしている。	○	○	○	4
	年間授業内容の総復習 【知識及び技能】 ・年間の学習内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・状況に応じた技能の活用ができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分から積極的に向き合う姿勢がみられる。	提示された問題や質問に対し、発言・発表を的確に行う。	○文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ○引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 ○「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えている。 ○「書くこと」において、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	○	○	○	3
	定期考査・テスト返却			○	○		2
							65

都立福生高等学校定時制課程 令和7年度【国語教養】年間授業計画

教科:(国語)科目:(国語教養) 対象:(第4学年)

教科担当者:(1組:)

使用教科書:なし

	指導内容 【年間授業計画】	科目 国語教養 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月	オリエンテーション	授業の進行・方針の説明	関心・意欲・態度	1
	漢字の成り立ち	漢字の成り立ちと文字の種類について学ぶ	関心・表現・技能 小テスト(知識・理解)	3
	漢字検定の問題	3級の問題を解く	関心・表現・技能 小テスト(知識・理解)	2
5月	漢字検定の問題	3級の問題を解く・確認テスト	関心・表現・技能 小テスト(知識・理解)	4
	履歴書の書き方	履歴書の書き方	関心・表現・技能 小テスト(知識・理解)	2
	手紙の書き方	時候の挨拶の種類と使い分け、頭語と結語	関心・意欲・態度 小テスト(知識・理解)	2
6月	漢字検定の問題	3級の問題を解く・確認テスト	関心・意欲・態度・思考 小テスト(知識・理解)	4
	手紙の書き方	はがきの書式・便箋・一筆箋	関心・意欲・態度・思考 小テスト(知識・理解)	4
7月	漢字検定の問題	3級の問題を解く・確認テスト	関心・意欲・態度・思考 小テスト(知識・理解)	3
	書式の確認	1学期に学んだ書式の実践確認	関心・意欲・態度・思考 小テスト(知識・理解)	3
9月	漢字検定の問題	準2級の問題を解く・確認テスト	意欲・思考・判断・表現 小テスト(知識・理解)	4
	ビジネスメール	ビジネスメールのマナーとルール・本文	意欲・思考・判断・表現 小テスト(知識・理解)	4
10月	漢字検定の問題	準2級の問題を解く・確認テスト	関心・意欲・態度・思考 小テスト(知識・理解)	2
	手紙の種類	状況に合わせた手紙の種類について	思考・判断・表現・技能 小テスト(知識・理解)	2
	手紙での言葉遣いと忌み言葉	状況に合わせた言葉遣いと忌み言葉	思考・判断・表現・技能 小テスト(知識・理解)	2
11月	漢字検定の問題	準2級の問題を解く・確認テスト	関心・意欲・思考・表現 小テスト(知識・理解)	4
	はがき・手紙の作成	学習内容を踏まえ、実際にはがきや手紙を作成する	関心・意欲・思考・表現 小テスト(知識・理解)	4
12月	漢字検定の問題	準2級の問題を解く・確認テスト	関心・意欲・思考・表現 小テスト(知識・理解)	3
	SPI	SPIを解くことで、社会人に求められる知識を学ぶ	関心・意欲・思考・表現 小テスト(知識・理解)	3
1月	漢字検定の問題	準2級の問題を解く・確認テスト	関心・意欲・思考・表現 小テスト(知識・理解)	3
	SPI	SPIを解くことで、社会人に求められる知識を学ぶ	関心・意欲・思考・表現 小テスト(知識・理解)	3
2月				
3月				

福生 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教 科： 数学 科 目： 数学 I 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書： 新 高校の数学 I（出版社：数研出版）

教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 計算やグラフなどの基本的な概念を理解するとともに、それらを数学的に表現・処理する技能の基礎を身に付ける。
- 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。
- 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数についての基本的な概念を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を目的に応じて適切に変形したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	数と式の計算 ・これまでに学習した計算の方法と関連付けて、処理する力を養う。 ・文字を使った式で数量を表すことができるようにする。 ・単項式と多項式の違いを理解する。また、項や次数などの用語を理解できるようにする。 ・展開の公式を理解し、公式を利用できるようにする。	・正負の数の四則計算 ・単項式と多項式 ・多項式の四則計算 ・展開の公式	【知識・技能】 ・正負の数、の加法、減法、乗法、分数の計算ができる。 ・文字を使った式で数量を表すことの必要性を理解している。 ・多項式の加法、減法の計算ができる。また、指数法則や分配法則を用いて、多項式の乗法の計算ができる。 ・展開の公式を利用できる。 【思考・判断・表現】 ・四則が混じった計算の優先順位を正確に判断できる。 ・ある数量について、文字を使った式で表現することができる。 ・式の展開と分配法則の関係を考察することができる。 ・展開の公式の導き方を、面積図を使って考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・これからの学習の基礎となる数の計算方法に関心を持ち、積極的に習得しようとする。 ・単項式、多項式とその整理の仕方に関心を持ち、考察しようとする。 ・多項式の乗法には、数の場合と同様に分配法則が使えることに関心を持ち、考察しようとする。	○	○	○	20
	定期考査 考査返却			○	○		2
	数と式の計算 ・因数分解の仕方を理解する。また、公式を利用できるようにする。 ・1つの文字をおきかえて、既に学習した計算の方法と関連付けて、処理する力を養う。 ・平方根の意味を理解し、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。また、分母を有理化の仕方を理解できるようにする。 ・有理数と無理数の違いを理解する。また、絶対値の意味を理解し、記号を用いて表すことができるようにする。	・因数分解 ・展開、因数分解の工夫 ・根号を含む式の計算 ・実数	【知識・技能】 ・因数分解の公式を利用できる。 ・文字のおきかえを利用して、展開や因数分解を行うことができる。 ・平方根の意味を理解している。 ・根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。また、分母を有理化することができる。 ・有理数と無理数の違い、および実数について理解している。また、絶対値の意味と記号表示を理解している。 【思考・判断・表現】 ・たすき掛けの仕組みを理解している。 ・文字をおきかえることで、展開や因数分解の公式を適用できるようになることを見通せる。 ・根号を含む式の乗法の計算に、展開の公式を適用することができる。 ・実数の絶対値を、数直線上で原点からの距離として考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。 ・おきかえなどの工夫によって、よりよい方法を考察しようとする。	○	○	○	20
	定期考査 考査返却			○	○		2

2 学 期	1次不等式 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。	・1次方程式 ・不等式 ・不等式の解	【知識・技能】 ・方程式における解の意味を理解し、1次方程式を解くことができる。 ・不等号の意味を理解している。 ・不等式が値の範囲を表すことを理解し、その範囲を数直線上に表すことができる。 ・不等式の性質を理解している。 ・不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 ・連立不等式の意味を理解し、連立1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・日常の問題を解決するのに、1次方程式を活用することができる。 ・数量の大小関係を式で表現することができる。 ・不等式の性質を、数直線上の点と対応させて考察することができる。 ・不等式の性質を基に、1次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の問題を解決するのに、1次不等式を活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・不等式の性質について、等式の性質と比較して、考察しようとする。 ・1次不等式の解き方について、1次方程式の解き方と比較して、考察しようとする。	○	○	○	20
	定期考查 考查返却			○	○		2
	2次関数のグラフ ・関数について理解し、関数の値の求め方を理解できるようにする。 ・日常生活と関連付けて、関数が身近なものであることを理解する。 ・1次関数,2次関数のグラフの特徴を理解し、コンピュータを用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。	・関数 ・1次関数のグラフ ・2次関数のグラフ(1)	【知識・技能】 ・関数について理解している。 ・関数の値を求めることができる。 ・対応表を利用して、1次関数のグラフをかくことができる。 ・傾きと切片に着目して、1次関数のグラフをかくことができる。 ・放物線の形や軸、頂点について理解している。 ・$y=ax^2$のグラフをかくことができる。 ・$y=ax^2+q$のグラフをかくことができる。 ・$y=a(x-p)^2$のグラフをかくことができる。 ・$y=a(x-p)^2+q$のグラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 ・2つの数量の関係を関数の式で表現することができる。 ・関数を表、式、グラフによって考察することができる。 ・$y=ax+b$のグラフを$y=ax$のグラフをy軸方向に平行移動したものとみて考察することができる。 ・$y=a(x-p)^2+q$のグラフについて、x軸方向、y軸方向の平行移動の組み合わせとみて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象の中に関数を見つけようとする。 ・放物線のもつ性質に興味・関心をもち、自ら調べようとする。	○	○	○	24
	定期考查 考查返却			○	○		2
3 学 期	2次関数のグラフ ・2次関数のグラフの特徴を理解し、コンピュータを用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。 ・式の変形の仕方を理解し、それを利用して式の変形ができるようにする。 平方完成を利用して、グラフをかけるようにする。	・2次関数のグラフ(2) ・確認問題	【知識・技能】 ・ax^2+bx+cを$a(x-p)^2+q$の形に変形できる。 ・平方完成を利用して$y=ax^2+bx+c$のグラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 ・問題をランダムに配した際にグラフのかき方を的確に判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・放物線のもつ性質に興味・関心をもち、自ら調べようとする。	○	○	○	23
	定期考查 考查返却			○	○		2
				○	○		合計
							117

福生 高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教 科： 数学 科 目： 数学 I 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書： 新 高校の数学 I（出版社：数研出版）

教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 計算やグラフなどの基本的な概念を理解するとともに、それらを数学的に表現・処理する技能の基礎を身に付ける。
- 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。
- 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形と計量、2次関数についての基本的な概念を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を目的に応じて適切に変形したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	2次関数 ・2次関数のグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。 ・2次関数の値の変化について理解し、具体的な事象に関連した課題の解決に2次関数を活用する力を培う。次に、2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	・2次関数の最大値、最小値 ・グラフと2次方程式 ・グラフと2次不等式	【知識・技能】 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	15
	定期考査 考査返却			○	○		2
	2次関数 ・2次関数のグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。 ・2次関数の値の変化について理解し、具体的な事象に関連した課題の解決に2次関数を活用する力を培う。次に、2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	・2次関数の最大値、最小値 ・グラフと2次方程式 ・グラフと2次不等式	【知識・技能】 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	15
	定期考査 考査返却			○	○		2

2 学 期	・三角比の意味やその基本的な性質について理解し，三角比の相互関係などを理解できるようにする。 また，日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ，三角比を活用して問題を解決する力を培う。 ・図形の構成要素間の関係を，三角比を用いて表現し定理や公式を導く力，日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ，正弦定理，余弦定理などを活用して問題を解決する力を培う。	直角三角形 三角比 正弦定理 余弦定理 三角形の面積	【知識・技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 ・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 ・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し，定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。	○	○	○	15
	定期考查　考查返却			○	○		2
	集合と命題に関する基本的な概念を理解し，それを事象の考察に活用できるようにする。	集合 命題と集合 必要条件と十分条件	【知識・技能】 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・集合の考えを用いて命題を論理的に考察し，簡単な命題の証明をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を集合と論証の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	16
	定期考查　考查返却			○	○		2
3 学 期	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力，目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力，不確実な事象の起こりやすさに着目し，主張の妥当性について，実験などを通して判断したり，批判的に考察したりする力などを養う。	データの整理 データの代表値 データの散らばり データの相関	【知識・技能】 ・分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその使い方理解している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして，データを表やグラフに整理したり，分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し，主張の妥当性について，実験などを通して判断したり，批判的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり　評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	16
	定期考查　考查返却			○	○		2
							合計
							87

福生 高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅱ 単位数： 3 単位
対象学年組：第 3 学年 1 組
教科担当者：
使用教科書： 新 高校の数学Ⅱ (出版社:数研出版)
教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的な表現を適切に用いる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方・考え方を身に付け、事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする力を養うこと。数学的根拠に基づいて判断する力や、考えを論理的に表現する力を育成すること。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学的活動の楽しさや数学的な見方・考え方の良さを感得し、主体的に数学を学ぼうとする態度を養うこと。数学を活用して考えをみがぐ力や、粘り強く取り組む態度を育てること。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。	事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	式の計算 ・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。 ・数の範囲を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の計算ができるようにする。また、複素数を用いて、2次方程式やその解についてより一般的に考察できるようにする。 ・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。	・分数式 ・複素数 ・整式の除法	【知識・技能】 ○分数式を約分することができる。 ○分数式の乗法・除法の計算ができる。 ○分数式の加法・減法の計算ができる。 ○2次方程式の解の公式を利用して、2次方程式を解くことができる。 ○判別式を利用して、2次方程式の解を判別することができる。 【思考・判断・表現】 ○分数式の計算について、分数の計算と同じように考察することができる。 ○2次方程式の解について、実際に解を求めずとも、判別式で解の種類を判別できることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○3乗に関わる展開の公式を自ら導こうとする。 ○問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 ○おきかえなどの工夫によって、よりよい方法を考察しようとする。	○	○	○	20
	定期考査 考査返却			○	○		2
	図形と方程式 ○座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	・内分点と外分点 ・直線の方程式	【知識・技能】 ○数直線上において、2点間の距離を求めることができる。 ○線分の内分点、外分点の意味を理解し、数直線上に内分点、外分点の位置を表すことができる。 ○x, yの1次方程式が表す直線をかくことができる。 ○通る1点と傾きがわかっている直線の方程式を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○線分の外分点の公式を、内分点と統一して捉えようとする。 ○通る2点がわかっている直線の方程式を、通る1点と傾きがわかっている直線の方程式を利用して考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○数直線上の点に関する公式を利用して、平面上の場合を考察しようとする。 ○2直線の平行・垂直の関係を、傾きに注目して考察しようとする。	○	○	○	20
	定期考査 考査返却			○	○		2

2 学 期	○座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現し、それらの有用性を認識する。また、図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、事象の考察に活用できるようにする。	・円の方程式 ・円と直線 ・軌跡	【知識・技能】 ○中心の座標と半径から円の方程式を求めることができる。また、円の方程式から中心の座標と半径を求め、円をかくことができる。 ○直径の両端の座標から円の方程式を求めることができる。 ○x, yの2次方程式を変形して、その方程式が表す図形を調べることができる。 【思考・判断・表現】 ○円上の点と中心との距離が一定であることに着目し、円の方程式について考察することができる。 ○円と直線の共有点の個数を、2次方程式の実数解の個数で考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○x, yの2次方程式が表す図形に興味・関心をもつ。 ○点が満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとする。	○	○	○	20
	定期考查 考查返却			○	○		2
	三角関数 ○角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。	・三角比 ・一般角 ・三角関数	【知識・技能】 ○三角比の相互関係を利用して、三角比の1つの値から残りの2つの値を求めることができる。 ○三角関数の値を、三角関数の定義によって求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○一般角を動径とともに考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○三角関数の相互関係について、既習である円の方程式と関連付けて、多面的に考察しようとする。	○	○	○	24
定期考查 考查返却			○	○		2	
3 学 期		・加法定理 ・いろいろな公式	【知識・技能】 ○加法定理を利用して、三角関数の値を求めることができる。 ○2倍角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。 ・例題6, 練習17 ○三角関数の合成について理解している。 【思考・判断・表現】 ○ $45^{\circ}+30^{\circ}$ の具体的な値で加法定理の式が成り立つことを、図形的に考察することができる。 ○弧度法を、弧の長さで角を測る方法として理解し、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○加法定理から、2倍角の公式を導こうとする。 ○三角関数の積や和のグラフがまたサインカーブになることに興味をもち、グラフをかくて確かめてみようとする。	○	○	○	23
	定期考查 考查返却			○	○		2
				○	○		合計 117

福生 高等学校 令和7年度（4学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 4 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書： 新 高校の数学Ⅱ (出版社:数研出版))

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的な表現を適切に用いる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学的な見方・考え方を身に付け、事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする力を養うこと。数学的根拠に基づいて判断する力や、考えを論理的に表現する力を育成すること。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学的活動の楽しさや数学的な見方・考え方の良さを感得し、主体的に数学を学ぼうとする態度を養うこと。数学を活用して考えをみがぐ力や、粘り強く取り組む態度を育てること。

科目 数学Ⅱ	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。	事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	三角関数 ○角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。	・三角比 ・一般角 ・三角関数	【知識・技能】 ○三角比の相互関係を利用して、三角比の1つの値から残りの2つの値を求めることができる。 ○三角関数の値を、三角関数の定義によって求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○一般角を動径とともに考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○三角関数の相互関係について、既習である円の方程式と関連付けて、多面的に考察しようとする。	○	○	○	20
	定期考査 考査返却			○	○		2
	三角関数 ○角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。	・加法定理 ・いろいろな公式	【知識・技能】 ○加法定理を利用して、三角関数の値を求めることができる。 ○2倍角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。 ・例題6，練習17 ○三角関数の合成について理解している。 【思考・判断・表現】 ○45° + 30° の具体的な値で加法定理の式が成り立つことを、図形的に考察することができる。 ○弧度法を、弧の長さで角を測る方法として理解し、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○加法定理から、2倍角の公式を導こうとする。 ○三角関数の積や和のグラフがまたサインカーブになることに興味をもち、グラフをかくて確かめてみようとする。	○	○	○	20
	定期考査 考査返却			○	○		2

2 学 期	微分法と積分法 関数の極限の考えを導入し、平均変化率や微分係数の概念とその図形的な意味を知らせる。 微分係数や導関数の意味を理解させ、その計算法に習熟させる。 導関数の性質を調べることによって、関数の増減や極値を求め、その関数のグラフが書けるようにする。 不定積分の概念とその導き方を理解させる。 定積分の意味を理解させ、計算法に習熟させるとともに、定積分の利用法の一つとして、曲線や直線で囲まれた部分の面積を求めさせる。	・関数の表し方と値 ・平均変化率とその求め方 ・極限値の考え ・微分係数とその求め方 ・導関数の定義 ・導関数の性質 ・導関数の計算 ・導関数を用いた微分係数の計算 ・微分係数と接線の傾き ・接線の方程式 ・関数の増減と導関数の富豪の関係 ・増減表 ・関数の極大・極小 ・3次関数のグラフ ・関数の最大値と最小値 ・最大値・最小値の応用	【知識・技能】 ○微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること ○導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形を描く方法を理解すること。 【思考・判断・表現】 ○関数とその導関数との関係について考察すること ○関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	○	○	○	20
	定期考査 考査返却			○	○		2
	微分法と積分法 関数の極限の考えを導入し、平均変化率や微分係数の概念とその図形的な意味を知らせる。 微分係数や導関数の意味を理解させ、その計算法に習熟させる。 導関数の性質を調べることによって、関数の増減や極値を求め、その関数のグラフが書けるようにする。 不定積分の概念とその導き方を理解させる。 定積分の意味を理解させ、計算法に習熟させるとともに、定積分の利用法の一つとして、曲線や直線で囲まれた部分の面積を求めさせる。	・不定積分の定義 ・不定積分の性質 ・不定積分の計算 ・条件が与えられた時の積分定数の決定 ・定積分の定義 ・定積分の計算 ・定積分と面積の関係 ・曲線とX軸で囲まれた部分の面積 ・2曲線間の面積	【知識・技能】 ○不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めること。 【思考・判断・表現】 ○微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。	○	○	○	24
定期考査 考査返却			○	○		2	
3 学 期	指数関数・対数関数 指数を拡張する意味とその方法、および指数法則を理解させる。特に、これらは指数関数や対数関数を学ぶ基礎となるため、十分に習熟させる。 指数関数のグラフを描き、それによって、指数関数の特徴や大小関係について理解させたり、指数関数を含む方程式を解かせたりする。 対数の概念を導入し、対数の性質を指数法則の裏付けのもとに理解させる。 指数関数の場合と同様に、対数関数のグラフを描き、それによって、対数関数の特徴や大小関係について理解させたり、対数を含む方程式を解かせたりする。これは、指数関数と比較しながら行くと、関連性がより分かりやすくなるであろう。 常用対数を導入する。常用対数表を用いることによって、けた数などの問題を解き、対数の考えの有用性を知らせる。	・指数が正の整数のときの指数法則 ・指数の整数への拡張 ・指数が0や負の整数である数 ・累乗根の定義 ・指数の有理数への拡張 ・指数が有理数のときの指数法則 ・指数関数のグラフとその特徴 ・指数関数の定義とその性質 ・対数の定義と値 ・対数の性質 ・対数の性質を用いた計算 ・対数関数のグラフとその特徴 ・対数の大小比較 ・対数関数を含む方程式 ・常用対数の定義	【知識・技能】 ○指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をする ○指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解する ○対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をする ○対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 【思考・判断・表現】 ○指数と対数を相互に関連付けて考察する ○指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察する ○二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。	○	○	○	23
	定期考査 考査返却			○	○		2 合計 117

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A Lesson4 Ghacha-gacha 【知識及び技能】 SV00の文型を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・SV00の文型を用いて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単語小テスト 【思考・判断・表現】 speechテスト 【主体的に学習に取り組む態度】 音読テスト、提出物	○	○	○	3
	A Lesson4 Ghacha-gacha 【知識及び技能】 SV00の文型を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・SV00の文型を用いて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単語小テスト 【思考・判断・表現】 speechテスト 【主体的に学習に取り組む態度】 音読テスト、提出物	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	B Lesson5 interesting aquariums 【知識及び技能】 形式主語Itを理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・It to構文を用いて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単語小テスト 【思考・判断・表現】 speechテスト 【主体的に学習に取り組む態度】 音読テスト、提出物	○	○	○	4
	B Lesson5 interesting aquariums 【知識及び技能】 形式主語Itを理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・It to構文を用いて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単語小テスト 【思考・判断・表現】 speechテスト 【主体的に学習に取り組む態度】 音読テスト、提出物	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	A Lesson6 The relay of Ahmed's life 【知識及び技能】 ・知覚動詞・SVOCの文型を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・知覚動詞・SVOCの文型を用いて、	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単語小テスト 【思考・判断・表現】 speechテスト 【主体的に学習に取り組む態度】 音読テスト、提出物	○	○	○	4
	A Lesson6 The relay of Ahmed's life 【知識及び技能】 ・接続詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・接続詞を用いて、考えや気持ちを話して伝えている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単語小テスト 【思考・判断・表現】 speechテスト 【主体的に学習に取り組む態度】 音読テスト、提出物	○	○	○	4
3 学 期	B Lesson7 Artificial intelligence 【知識及び技能】 ・現在完了形を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現在完了形を用いて、考えや気持ちを話して伝えている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単語小テスト 【思考・判断・表現】 speechテスト 【主体的に学習に取り組む態度】 音読テスト、提出物	○	○	○	3
	B Lesson7 Artificial intelligence 【知識及び技能】 ・現在完了形を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現在完了形を用いて、考えや気持ちを話して伝えている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単語小テスト 【思考・判断・表現】 speechテスト 【主体的に学習に取り組む態度】 音読テスト、提出物	○	○	○	3
							合計
							31

高等学校 令和7年度（4学年用） 教科 英語 科目 コミュニケーション英語Ⅱ

教科：英語 科目：コミュニケーション英語Ⅱ 単位数：3 単位 3

対象学年組：第 4 学年 組～ 組

教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 開隆堂Amity2 ）

教科 英語 の目標：

- 【知識及び技能】実際のコミュニケーションにおいてより多く活用できる技能を身にけられる。
- 【思考力、判断力、表現力等】基礎英文法を通して考えや気持ちを話してより多くを伝えられる。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国の言葉を通し異文化理解への知識を深め、自分の気持ちを伝えられ、相手の気持ちをより応用して理解で
- 科目 コミュニケーション英語Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実際のコミュニケーションにおいてより活用で きる技能を深く身にけられる。	基礎英文法を通して考えや気持ちを話してより 多くを応用して伝えられる。	外国の言葉を通し異文化理解への知識を深め、 自分の気持ちを伝えられ、相手の気持ちをより 深く理解できる態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	Lesson9 【知識・技能】 ・分詞構文を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・分詞構文を用いて、考えや気持ちを話して伝えている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単語小テスト 【思考・判断・表現】 speechテスト 【主体的に学習に取り組む態度】 音読テスト、提出物	○	○	○	3
	Lesson9 【知識・技能】 ・分詞の形容詞用法を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・分詞の形容詞用法を用いて、考えや気持ちを話して伝えている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単語小テスト 【思考・判断・表現】 speechテスト 【主体的に学習に取り組む態度】 音読テスト、提出物	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	Lesson10 【知識・技能】 ・制限用法を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・制限用法を用いて、考えや気持ちを話して伝えている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単語小テスト 【思考・判断・表現】 speechテスト 【主体的に学習に取り組む態度】 音読テスト、提出物	○	○	○	4
	Lesson10 【知識・技能】 ・非制限用法を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・非制限用法を用いて、考えや気持ちを話して伝えている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単語小テスト 【思考・判断・表現】 speechテスト 【主体的に学習に取り組む態度】 音読テスト、提出物	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	Lesson11 【知識・技能】 ・関係副詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・関係副詞を用いて、考えや気持ちを話して伝えている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単語小テスト 【思考・判断・表現】 speechテスト 【主体的に学習に取り組む態度】 音読テスト、提出物	○	○	○	4
	Lesson12 【知識・技能】 ・仮定法過去の文型を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・仮定法過去を用いて、考えや気持ちを話して伝えている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単語小テスト 【思考・判断・表現】 speechテスト 【主体的に学習に取り組む態度】 音読テスト、提出物	○	○	○	4
3 学 期	Lesson12 【知識・技能】 ・仮定法過去完了を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・仮定法過去完了を用いて、考えや気持ちを話して伝えている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単語小テスト 【思考・判断・表現】 speechテスト 【主体的に学習に取り組む態度】 音読テスト、提出物	○	○	○	3
	Lesson12 【知識・技能】 ・I wish～を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・I wish～を用いて、考えや気持ちを話して伝えている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単語小テスト 【思考・判断・表現】 speechテスト 【主体的に学習に取り組む態度】 音読テスト、提出物	○	○	○	3
							合計 31

福生 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 地理総合 科目 地理

教科： 地理総合
科目： 地理
対象学年組：第 2 学年 1 組
教科担当者： 東海林 元
使用教科書：（ 帝国書院 高校生の地理総合 ）
教科 地理総合 の目標：

- 【知識及び技能】 地理に係わる諸事象に関して、世界の諸地域の地域的特色や課題を理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システム等を用いて調査や諸資料から地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理に係わる事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

科目 地理	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	地理に係わる諸事象に関して、世界の諸地域の地域的特色や課題を理解する。	地図や地理情報システム等を用いて調査や諸資料から地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。	地理に係わる事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	地図と地理情報システム ・日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 ・地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・緯度と経度 ・時差 ・地球儀と地図 ・身の回りの地図 ・統計地図の種類と利用 ・地理情報システムの活用	【知識・技能】 ・地図の読み取りを基本とし、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・地図や地理情報システムについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・対話の大切さを意識し、相手の意見も取り入れて意見の発表ができる。	○	○	○	8
	結びつきを深める現代世界 ・現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 ・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界の視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。	・現代世界の国家と領域 ・地図から見る日本の位置と領域 ・グローバル化と多様な結びつき ・拡大する貿易 ・世界を結ぶ交通・通信 ・観光と人のグローバル化	【知識・技能】 ・さまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代世界の地域構成について、主題を設定し、世界の視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	世界の地形と人々の生活 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。	・生活文化の多様性 ・生活と地形の関わり ・河川がつくる地形と人々の世界 ・海岸の地形と人々の生活 ・水河地形・カルスト地形・感想地帯と人々の生活	【知識・技能】 ・国境の種類、国家の領域、国家の主権について理解している。 【思考・判断・表現】 ・国境の種類、国家の領域、国家の主権について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国境の種類、国家の領域、国家の主権について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		2
2 学期	世界の気候と人々の生活 ・人々の生活はそれぞれの気候要素とどのように関わり合っているか、そして、世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうかを理解する。 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 ・言語や宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうかを理解する。	・生活と気候の関わり ・熱帯の気候と人々の生活 ・乾燥帯の気候と人々の生活 ・温帯の気候と人々の生活 ・亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 ・宗教・民族・言語の多様性 ・国際理解を深めるために ・世界から見た日本の生活文化	【知識・技能】 ・気候の変化が人々の生活にどのような影響を与えているかの知識、技能を身につけている。 ・言語や宗教が人々の生活にどのような影響を与えているかの知識、技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・気候の変化が人々の生活にどのような影響を与えているかを多面的に考察し、表現している。 ・言語や宗教が人々の生活にどのような影響を与えているかを多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・気候の変化が人々の生活にどのような影響を与えるかを主体的に追求、解決しようとしている。 ・言語や宗教が人々の生活にどう影響しているかを主体的に追求・解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		2
	世界の気候と人々の生活 ・人々の生活はそれぞれの気候要素とどのように関わり合っているか、そして、世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうかを理解する。 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 ・言語や宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうかを理解する。 地球的課題と国際協力 ・世界には、国や地域によってどのような人口問題があり、どのような対策が行われているかを理解する。	・生活と気候の関わり ・熱帯の気候と人々の生活 ・乾燥帯の気候と人々の生活 ・温帯の気候と人々の生活 ・亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 ・宗教・民族・言語の多様性 ・国際理解を深めるために ・世界から見た日本の生活文化 ・人口問題 ・食料問題 ・都市・居住問題 ・感染症・衛生問題 ・資源・エネルギー問題	【知識・技能】 ・気候の変化、言語や宗教が人々の生活にどのような影響を与えているかの知識、技能を身につけている。 ・世界の諸問題についての知識・技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・気候の変化、言語や宗教が人々の生活にどのような影響を与えているかを多面的に考察し、表現している。 ・世界の諸問題について多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・気候の変化、言語や宗教が人々の生活にどのような影響を与えるかを主体的に追求、解決しようとしている。 ・世界の諸問題をどのように解決するかを主体的に考えている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		2
3 学期	日本の自然環境 ・世界や日本の各地で発生する自然災害の特徴を理解する。	・日本の自然環境と人々の生活 ・地震・津波や火山活動による災害と防災	【知識・技能】 ・日本の自然環境が人々の生活にどのように影響しているかについて理解している。 ・自然から起こる災害の被害と防災方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・日本の自然環境が人々の生活にどのように影響しているかを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自然災害の被害と防災方法について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の自然環境が人々の生活にどのように影響しているかを主体的に考えている。 ・自然災害の被害と防災方法について主体的に考えている。	○	○	○	4
	日本の自然環境	・気象災害と防災 ・自然災害への備え	【知識・技能】 ・日本の自然環境が人々の生活にどのように影響しているかについて理解している。 ・自然から起こる災害の被害と防災方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・日本の自然環境が人々の生活にどのように影響しているかを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自然災害の被害と防災方法について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の自然環境が人々の生活にどのように影響しているかを主体的に考えている。 ・自然災害の被害と防災方法について主体的に考えている。		○	○	14
							合計
							78
定期考査				○	○		2

高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科 地歴 科目 歴史総合

教 科： 地歴 科 目： 歴史総合 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組

使用教科書： （ 実況出版： 歴史総合 ）

教科 地歴 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 諸資料から教科に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】 社会的事象の見方・考え方を働かせて考察する力、構想する力、議論する力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】 社会的事象の見方・考え方を働かせて考察する力、構想する力、議論する力を育成する。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を育成する。	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて考察する力、構想する力、議論する力を育成する。	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて考察する力、構想する力、議論する力を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	近代化への胎動 ・17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通、江戸幕府の4つの口や周辺地域との貿易などを基に、18世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解させる。	・江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 ・江戸の生産・流通と諸改革 ・幕政の改革と東アジア世界	【知識及び技能】 17世紀～19世紀の日本と清の海禁政策の内容と交易場所を学んでいる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本と清の海禁政策を比較し、検討している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本と清の対外政策の内容について主体的に学んでいる。	○	○	○	3
	欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 ・18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国の政治に影響などに着目して主題を設定し、18世紀とその前後の世界全体の経済活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係、江戸幕府が崩壊していく関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	・イギリス産業革命 ・アメリカ独立戦争 ・フランス革命とウィーン体制 ・アメリカ合衆国の発展 ・オスマン帝国の衰退とロシア ・アヘン戦争の衝撃と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡	【知識及び技能】 18世紀のヨーロッパ・アジア・アメリカ大陸の社会の変化とその前後の世界の経済を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、東アジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米が市民革命から国民国家を形成したことがアジア変容とどのように関連しているかを主体的に学んでいる。	○	○	○	10
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	欧米諸国と日本の国民国家形成 ・19世紀後半のヨーロッパの動きと日本の明治政府の政策、日本と欧米諸国の外交関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本との経済と社会を理解させる。	・イギリス・フランスの繁栄 ・イタリア・ドイツの統一 ・明治政府の諸改革 ・日本のアジア外交と国境問題 ・自由民権運動と大日本帝国憲法	【知識及び技能】 19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 19世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 19世紀のヨーロッパと日本が国民国家を形成することが他のアジア諸国にどのような影響を与えたかを主体的に学んでいる。	○	○	○	6
	帝国主義の時代 ・19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の進出を理解させる。	・帝国主義の時代へ ・朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 ・日清戦争後の東アジア ・日露戦争と東アジアの変動 ・日本の産業革命	【知識及び技能】 帝国主義の特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 19世紀から20世紀初頭の日本における政治の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を持っている。	○	○	○	12
	定期考査・テスト返却			○	○		2

福生 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 理科 科目 地学基礎

教科： 理科 科目： 地学基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（ 第一学習社 高等学校 地学基礎 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 地学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。	地学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 地球のすがた 第1節 地球の概観 ・地球の形と大きさについて、関連する歴史や、エラトステネスの測定法による地球の大きさの求め方を学習する。 ・地球の形や大きさについて学習する。 ・地球の層構造を学習し、表面と内部の性質の違いを理解する。 ・地殻や核を構成する物質の違いについて学習する。	1. 地球の形と大きさ 2. 地球の形の特徴と大きさ 3. 地球の内部構造 4. 地球内部の動き	(1) エラトステネスによる測定をもとに、計算によって地球の大きさを求めることができる。 (2) 地球の形と大きさの測定の歴史について意欲的に学習しようとしている。 (1) 地球楕円体、緯度1°あたりの経線の長さの測量について理解し、知識を身に付けている。 (2) 地形図を利用した実習を通して、地球の形について考察することができる。 (3) 地球の形や大きさについて意欲的に学習しようとしている。 (1) 地球の層構造(地殻・マントル・外核・内核)と、各層の特徴を理解し、知識を身に付けている。 (2) 地球を構成する元素を示すグラフを判読し、地球内部の構成物質の違いについて考察することができる。 (3) 岩石と鉄の密度の比較を通して、地球内部の各層の密度の違いについて考察することができる。 (4) 地球内部の層構造や各層を構成する物質の違いに関心を持ち、地球内部のなりたちを意欲的に探究しようとしている。 (1) 地球内部の構成物質の違いによる区分とかたさによる区分の違い、ブルームについて理解し、知識を身に付けている。 (2) 地球内部の動きに関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	8
	第1章 地球のすがた 第2節 プレーートの運動 ・プレートの分布と運動について学習する。 ・プレートの境界の特徴について学習する。 ・断層の形式と褶曲について学習する。 ・変成作用と変成岩について学習する。 ・大地形の形成とプレートテクトニクスについて学習する。	1. プレーートの分布と運動 2. プレーートの境界 3. 地殻の変動と地質構造 4. 変成作用 5. 大地形の形成	(1) プレーートの分布や種類、プレートの動き、大陸移動説について理解し、知識を身に付けている。 (2) ハワイと日本の距離の変化のグラフを判読し、プレートの運動について考察することができる。 (3) プレーートの分布と運動について関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。 (1) 3種類のプレートの境界の特徴を理解し、知識を身に付けている。 (2) プレーートの境界で形成される大地形について、プレートの運動との関連を考察することができる。 (3) プレーートの境界について関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。 (1) 断層の種類や褶曲について、形成される条件などの特徴を理解し、知識を身に付けている。 (2) 地殻変動について、プレートの運動に関連させて考察することができる。 (3) 地層モデルを用いた実験を通して、断層が形成される状況について考察することができる。 (4) 断層の形式と褶曲について関心を持ち、地殻の変動のようすを解明する方法を意欲的に習得しようとしている。 (1) 広域変成作用と接触変成作用の違いを理解し、知識を身に付けている。 (2) 変成作用と変成岩について関心を持ち、プレートの運動と関連させて、意欲的に学習しようとしている。 (1) 造山帯の形成、大陸地殻の形成・成長の過程を理解し、知識を身に付けている。 (2) プレートテクトニクスという概念を理解し、地殻の変動について、プレートの運動によって説明することができる。 (3) 大地形の形成とプレートテクトニクスについて関心を持ち、地殻変動とプレートの運動との関係について意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	第2章 地球の活動 第1節 地震 ・地震の発生と分布の特徴について学習する。 ・地震波や震源の決定方法について学習する。 ・日本付近で発生する地震の分布と種類について学習する。 第2章 地球の活動 第2節 火山活動 ・世界および日本の火山の分布について学習する。 ・火山の形成について学習する。 ・火山噴出物と火山の噴火について学習する。 ・火山の形について学習する。 ・火成岩の産状と組織、火山岩と深成岩の違いについて学習する。 ・火成岩のおもな造岩鉱物の特徴を学習し、火成岩の分類について理解する。	1. 地震の発生と分布 2. 地震波の伝わり方 3. 日本付近で発生する地震① 4. 日本付近で発生する地震② 1. 火山の分布 2. 火山の形成とマグマ 3. 火山の噴火 4. 火山の地形 5. 火成岩の形成 6. 火成岩の種類	(1) 地震の発生と分布の特徴について理解し、知識を身に付けている。 (2) 世界の地震分布に関する資料を判読し、地震の分布の特徴を、地下のプレートと関連させて見いだすことができる。 (3) 地震波や大森公式について理解し、知識を身に付けている。 (2) 大森公式を利用して、初期微動継続時間から震源距離を求めることができる。 (3) 地震波や大森公式に関心を持ち、地震のおこるしくみについて意欲的に探究しようとしている。 (1) 日本付近の地震の分布と種類を理解し、知識を身に付けている。 (2) 日本付近の地震分布に関する資料を用いた実習を通して、地震の分布と地下のプレートとの関連を考察することができる。 (1) 世界の火山分布と日本の火山分布の資料から、マグマの発生する場所について、地下のプレートと関連させて考察することができる。 (1) 火山の形成過程について、地下のプレートと関連させて理解し、知識を身に付けている。 (1) 噴火のしくみ、火山噴出物の種類、噴火の様式とマグマの性質の関係について理解し、知識を身に付けている。 (2) 肉眼および双眼顕微鏡による火山灰の観察から、もとなつたマグマの性質を考察することができる。 (3) 火山噴出物と火山の噴火に関心を持ち、火山活動について意欲的に学習しようとしている。 (1) 火山の形の特徴とマグマの性質との関係を理解し、知識を身に付けている。 (2) マグマの性質と噴火の様式や火山の形を示す表から、実際の火山について、その形とマグマの性質の関連を考察することができる。 (3) 火山の形に関心を持ち、火山活動について意欲的に探究しようとしている。 (1) 火成岩は、産状によって鉱物の形や組織が異なることを理解し、知識を身に付けている。 (2) 火成岩の組織の観察から、鉱物の形の特徴を見いだすことができ、火山岩や深成岩に分類できる。 (3) 火成岩の産状、火山岩と深成岩の違いに関心を持ち、火成岩のなりたちを意欲的に学習しようとしている。 (1) 火成岩のおもな造岩鉱物、火成岩の分類、偏光顕微鏡による造岩鉱物の特徴を理解し、知識を身に付けている。	○	○	○	12
	定期考査・テスト返却			○	○		2

2 学 期	第3章 大気と海洋 第1節 地球のエネルギー収支 ・大気の組成と圧力、大気圏の構造について学習する。 ・大気中の水の変化について学習し、対流圏でおこる現象を理解する。 ・太陽放射と地球放射について理解する。 ・大気のエネルギー収支を理解し、大気の温室効果について考察する。	・大気の組成と圧力、大気圏の構造について学習する。 ・大気中の水の変化について学習し、対流圏でおこる現象を理解する。 ・太陽放射と地球放射について理解する。 ・大気のエネルギー収支を理解し、大気の温室効果について考察する。	(1) 大気の組成と圧力、大気圏の構造について理解し、知識を身に付けている。 (2) 高度別の気温のデータから、グラフを作成し、大気圏が高度による気温の変化にもといて区分されていることを確認することができる。 (3) 大気の組成、大気の圧力、大気圏の構造、オゾン層に関心をもち、各種の気象情報を積極的に日常生活に利用しようとしている。 (1) 大気中の水の変化と、大気に含まれる水蒸気量と温度の関係を理解し、知識を身に付けている。 (2) 飽和水蒸気圧と温度との関係を示すグラフから、相対湿度を計算によって求めることができる。 (3) 大気中の水の変化、雲の発生、降水のしくみについて関心をもち、天気の移り変わりのしくみを意欲的に学習しようとしている。 (1) 太陽放射、太陽定数、地球放射を理解し、知識を身に付けている。 (2) 太陽放射と地球放射の波長とエネルギーのグラフから、太陽放射と地球放射の違いを確認できる。 (3) 太陽放射と地球放射に関心をもち、太陽エネルギーの働きについて意欲的に学習しようとしている。 (1) 大気のエネルギー収支、温室効果、放射冷却を理解し、知識を身に付けている。 (2) 大気のエネルギー収支の図において、地球のエネルギー収支の平衡を数値で確認することができる。 (3) 大気のエネルギー収支に関心をもち、温室効果のはたらきについて意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査・テスト返却			○	○		2
3 学 期	第3章 大気と海洋 第2節 大気と海水の運動 ・緯度ごとのエネルギー収支を学習し、地球における南北の熱の輸送について理解する。 ・風が吹くしくみについて理解する。 ・地球規模の大気の大循環について学習する。 ・海水の組成と温度について学習し、海洋の層構造を理解する。 ・海洋表層の循環と深層に及ぶ循環について学習する。 ・エルニーニョ現象とラニーニャ現象について理解する。	1.エネルギー収支の緯度分布 2.風 3.大気の大循環① 4.大気の大循環② 5.海洋の構造 6.海洋の大循環 7.エルニーニョ現象とラニーニャ現象	(1) 緯度ごとのエネルギー収支、地球における南北の熱の輸送を理解し、知識を身に付けている。 (2) 緯度ごとのエネルギー収支を示すグラフを作成し、グラフから地球の南北の熱の輸送について考察することができる。 (3) 緯度ごとのエネルギー収支に関心をもち、大気の大循環について意欲的に学習しようとしている。 (1) 風が吹くしくみ、海陸風や季節風の違いを理解し、知識を身に付けている。 (2) 風が吹くしくみに関心をもち、海陸風や季節風について意欲的に学習しようとしている。 (1) 大気の大循環および、各地域での大気の動きを理解し、知識を身に付けている。 (2) 大気の大循環に関心をもち、各地域での大気の動きについて意欲的に学習しようとしている。 (1) 海水の組成と温度から、海洋の層構造を理解し、知識を身に付けている。 (2) 海面水温の分布に関する資料から、分布の特徴を見いだすことができる。 (3) 海水の組成と温度、海洋の層構造について関心をもち、海水の役割について意欲的に学習しようとしている。 (1) 海流、深層水の大循環モデルを理解し、知識を身に付けている。 (2) 塩水を用いた再現実験を通して、深層に及ぶ循環のしくみについて考察することができる。 (3) 海洋表層の循環、深層に及ぶ循環について関心をもち、海水の役割について意欲的に学習しようとしている。 (1) エルニーニョ現象やラニーニャ現象について理解し、知識を身に付けている。 (2) エルニーニョ現象やラニーニャ現象が発生したときに、日本の気候に与える影響について考察することができる。	○	○	○	11
	定期考査・テスト返却			○	○		2
3 学 期	第4章 宇宙と地球 第1節 宇宙と太陽の誕生 ・宇宙の探究の歴史について学習する。 ・宇宙の始まり、銀河系の構造について学習する。 ・太陽の誕生過程やエネルギー源について学習する。 ・太陽の表面や外層における活動について学習する。	1.宇宙の探究 2.宇宙の始まり① 3.宇宙の始まり② 4.太陽の誕生 5.太陽の活動	(1) 宇宙の探究の歴史について理解し、知識を身に付けている。 (1) 宇宙の始まり、銀河系の構造について理解し、知識を身に付けている。 (2) 星団の観察を通して、星団の位置を確認し、恒星や銀河について理解を深めることができる。 (3) ビッグバン、元素の誕生や宇宙の晴れ上がり、恒星・銀河に関心をもち、宇宙の始まりについて意欲的に探究しようとしている。 (1) 太陽の誕生過程やエネルギー源、現在の太陽について理解し、知識を身に付けている。 (2) 太陽系の中心に位置し、地球から最も近い距離にある恒星である太陽に関心をもち、地球上にさまざまな影響を与える太陽のエネルギーについて意欲的に学習しようとしている。 (1) 太陽の表面や外層における活動について理解し、知識を身に付けている。 (2) 太陽の黒点の観察を通して、太陽の活動について理解を深めることができる。 (3) 太陽系の中心に位置し、地球から最も近い距離にある恒星である太陽に関心をもち、地球上にさまざまな影響を与える太陽の活動を意欲的に学習しようとしている。 (1) 太陽系の構造と誕生過程、地球型惑星と木星型惑星の違いを理解し、知識を身に付けている。 (2) 太陽系の形成時の位置や質量などの違いによって、地球型惑星と木星型惑星の内部構造が違ふことを考察できる。 (3) 太陽系を構成する天体やその誕生過程に関心をもち、太陽系の成り立ちについて意欲的に学習しようとしている。 (1) 太陽系の小惑星の特徴を理解し、知識を身に付けている。 (2) 木星の衛星の観察を通して、衛星が木星の周りを公転していることを確認できる。 (3) 太陽系の小天体に関心をもち、その起源や形成過程について意欲的に学習しようとしている。 (1) 地球型惑星と木星型惑星の特徴を理解し、知識を身に付けている。 (2) それぞれの惑星の環境の違いから、その違いの要因について考察することができる。 (1) 生命が誕生する条件、原始地球の誕生過程や原始地球の進化から地球に生命が存在す	○	○	○	15
	定期考査・テスト返却			○	○		2
				合計			

福生 高等学校 令和7年度（2学年用）		教科	理科	科目	生物基礎
教科：	理科	科目：	生物基礎	単位数：	2 単位
対象学年組：	第 2 学年	1 組			
教科担当者：					
使用教科書：	（ 第一学習社 高等学校 新生物基礎 ）				
教科 理科	の目標：				

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

科目 生物基礎	の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1. 生物の共通性 ・地球上のさまざまな環境には、多種多様な生物が生息しており、生物は多様であることを理解する。 ・藻類、菌類、細菌の観察結果から、すべての生物のからだは細胞からなることを見だし、生物が共通にもつ特徴を理解する。 ・脊椎動物の系統樹から、生物に共通してみられる特徴は、進化の過程で共通祖先から受け継がれてきたものであると考察できる。 ・共通の祖先が進化の過程を経て、生物が多様化したことを理解する。 ・原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴を理解する。また、真核細胞において、核・細胞膜・細胞質基質・ミトコンドリア・葉緑体・液胞・細胞壁の機能の概要を理解する。 ・現生生物の共通祖先について、推測される特徴を理解する。	・さまざまな生物の観察 ・細胞構造の共通性	【知識・技能】 ・顕微鏡を用いて観察を正しく行うことができる。さらに、ミクロメーターを用いて観察物の大きさを測定することができる。 ・生物は多様でありながらも共通した特徴がみられることを理解している。さらに、すべての生物に共通する特徴を説明できる。さらに、ウイルスが生物とみなされない理由を説明することができる。 ・生物に共通してみられる特徴は、共通祖先から受け継いだものであることを理解している。さらに、脊椎動物の各グループにのみ共通する特徴についても理解している。 ・進化と適応および系統との関係について理解している。さらに、適応の例を示すことができる。 ・原核細胞、動物細胞、植物細胞それぞれの細胞の構造とその働きを理解している。さらに、真核生物は原核生物から進化したことを、細胞構造と関連づけて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・顕微鏡観察をもとに、細胞の形態的な特徴や大きさの違いを表現できる。さらに、結果をスケッチなどで表現することができる。 ・顕微鏡観察を行う際に、仮説を立てることができる。さらに、観察結果にもとづいて、自らの立てた仮説を検証することができる。 ・脊椎動物の各グループに共通する特徴が、進化の過程のどの時点で現れたかを推測することができる。さらに、これにもとづいて、生物に共通する特徴は共通祖先から受け継いだものであることを推測することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物にみられる共通性の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 生物の共通性の中核・細胞構造の共通性の学習において、見通しをもって取り組んだ	○	○	○	8
	2. 生物とエネルギー ・光エネルギーがなければ植物は生育し続けることができないことを示した資料から、生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 ・代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わっていることを理解する。 ・代謝におけるATPの役割を資料から読み取ることができる。 ・酵素の基本的な特徴について理解する。 ・肝臓片に含まれるカタラーゼを用いて実験を行い、酵素の触媒作用を確認する。 ・光合成は、光エネルギーによってATPをつくり、このエネルギーによって有機物を合成する過程であることを理解する。 ・呼吸は、酵素の働きによって有機物が段階的に分解されてエネルギーが取り出され、ATPがつけられる過程であることを理解する。	・エネルギーと代謝 ・代謝とATP ・代謝と酵素 ・光合成と呼吸	【知識・技能】 ・同化と異化を、エネルギーの流れと関連付けて理解している。さらに、それぞれの代表例をあげることができる。 ・独立栄養生物と従属栄養生物の違いを理解している。さらに、ともに同化と異化の両方を行うことを理解している。 ・ATPが、代謝でエネルギーが出入りする際の仲立ちになっていることを、その構造の特徴と関連づけて理解している。 ・酵素が触媒として働くことを理解している。さらに、その主成分がタンパク質であることを理解している。 ・酵素は特定の物質にのみ作用し、自身は変化せずくり返し作用できることを理解している。 ・細胞小器官が独自の働きをもつことを、酵素の局在と関連づけて理解している。 ・光合成と呼吸それぞれ反応の概要を理解している。さらに、これらの反応とエネルギーの流れおよびATPの関わりを関連づけて理解している。 【思考・判断・表現】 ・明所で生育した植物と暗所で生育した植物の写真をもとに、光の有無による生育の違いについて十分に説明することができ、植物の生育にはエネルギーが必要であることに気づくことができる。 ・資料をもとに、ATPが、光合成、呼吸、生命活動においてエネルギーが出入りする際の仲立ちとなっていることに気づき、説明することができる。 ・カタラーゼを用いた酵素の触媒作用を確認する実験について考察することができる。さらに、くり返し作用を検証する実験方法を立案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・エネルギーと代謝、代謝とATPの学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振	○	○	○	13
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	1. 遺伝情報とDNA ・遺伝子とDNAと染色体の関係について理解する。 ・身近な材料を用いて、DNAを抽出する。 ・DNAの塩基の相補的な結合を示した資料から、DNAの構造の特徴を見だし、DNAの基本的な構造を理解する。 ・DNAの複製の概要を示した資料から、塩基の相補性にもとづいてDNAが複製されていることに気づき、半保存的複製を理解する。 ・細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解する。 ・タマネギの根端を用いて、細胞分裂の各段階を観察する。また、結果から、細胞周期の各時期にかかる時間を推測できる。 2. 遺伝情報とタンパク質の合成 ・体内には多種多様なタンパク質が存在し、酵素などとしてさまざまな働きをしていることを理解する。 ・タンパク質は、多数のアミノ酸が鎖状につながってきたものであることを理解する。 ・DNAの塩基配列がmRNAの塩基配列に写し取られ（転写）、これがアミノ酸配列に置き換えられる（翻訳）という流れを理解する。 ・遺伝暗号表をもとに、あるmRNAが指定するアミノ酸配列を考察できる。 ・遺伝子はゲノムの一部であることを理解する。	・染色体・DNA・遺伝子 ・DNAの構造 ・DNAの複製 ・DNAの分配 ・タンパク質の構造と働き ・遺伝子の発現とタンパク質合成 ・細胞と遺伝子の働き	【知識・技能】 ・染色体、DNA、遺伝子の関係性を理解している。さらに、形質の多くは遺伝子によって決まること、および真核生物の染色体はDNAとタンパク質からなることを理解している。 ・DNAは、塩基の相補性にもとづいて結合した2本のヌクレオチド鎖からなり、二重らせん構造をとることを理解している。さらに、ヌクレオチドとヌクレオチド鎖の構造を理解している。 ・DNAの塩基配列が遺伝情報となっていることを理解している。さらに、遺伝子ごとに塩基の数や配列順序が異なることを理解している。 ・複製されたDNAには、元のDNAの一方のヌクレオチド鎖がそのまま受け継がれていることを理解している。さらに、DNAの複製と塩基の相補性とは関連づけて理解している。 ・生物の特徴は、タンパク質の働きにもとづくことを理解している。さらに、タンパク質は、遺伝情報にもとづいてつくられることを理解している。 ・タンパク質は、多数のアミノ酸からなることを理解している。さらに、タンパク質の種類は、アミノ酸配列により決まることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・DNAの構造に関する資料から、特定の塩基どうしが対になって結合していることに気づき、自分の言葉で説明することができる。 ・DNAの複製のようすを表した資料から、塩基の相補性にもとづいてヌクレオチドが鋳型鎖に結合していくことで、DNAが半保存的に複製されることに気づき、説明することができる。 ・観察結果から、間期と分裂期の時間の長さについて考察できる。さらに、分裂期の各時期の長さについても考察できる。 ・DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列に関する資料から、1つのアミノ酸にはDNAの3つの塩基の並びが対応することを推測することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・遺伝情報とDNAの学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 ・DNAの複製、DNAの分配の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 ・タンパク質の構造と働き、遺伝子の発現とタンパク質合成(1)、(2)の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理	○	○	○	12
	定期考査・テスト返却			○	○		2

	1. からだの調節と情報の伝達 ・恒常性と体液の種類である血液、組織液、リンパ液について理解する。 ・ホルモン分泌のフィードバック調節について、チロキシンの分泌調節を例に理解する。 ・健康なヒトとインスリンを正常に分泌できないヒトについて、食事の前後の血糖濃度とインスリン濃度の経時変化を示す資料から、インスリンの働きを考察し、理解する。 ・内分泌系と自律神経系によって血糖濃度が調節されるしくみについて理解する。 ・糖尿病の原因と症状について理解する。 ・体温調節のしくみについて理解する。 ・血液凝固のしくみと体内環境の維持との関係について理解する。	・恒常性と情報の伝達 ・神経系 ・自律神経系の働き ・ホルモンの働き ・血糖濃度の調節 ・体温の調節 ・からだの調節と血液の働き	【知識・技能】 ・ヒトの体内環境は安定に保たれていることを理解している。さらに、体液が体内環境であることを理解している。 ・自律神経系の分布を理解し、交感神経と副交感神経はきつ抗的に作用することを理解している。さらに、交感神経と副交感神経の分布と働きを理解している。 ・内分泌系では、ホルモンが標的器官に作用することを理解している。さらに、ホルモンは血液を介して運ばれることを理解している。 ・ホルモンの働きの学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・踏み台昇降運動による心拍数の変化から、運動によって心臓の拍動が変化することに気づき、説明することができる。さらに、体内には情報を伝達するしくみがあると推測し、説明することができる。 ・ホルモンの働きの学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・恒常性と情報の伝達、神経系、自律神経系の働きの学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 ・ホルモンの働きの学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	○	○	○	9
2学期	定期考査・テスト返却	*		○	○		2
	2. 免疫 ・皮膚や粘膜による生体防御について理解する。 ・好中球の存在下における細菌数の減少を示した資料から、好中球が細菌を取り込むようすを撮影した資料から、白血球が体内でどのような働きをしているかに気づき、白血球の役割について理解を深める。 ・獲得免疫は自然免疫によって誘導されることを理解する。 ・二次応答が起こるしくみを理解する。 1. 植生と遷移 ・植生は、相親によって森林・草原・荒原に大別されることを理解する。 ・森林には階層構造がみられ、階層によって光などの環境が異なることを理解する。 ・光の強さと光合成速度の関係をも、グラフを通じて理解する。 ・極相林にはさまざまな大きさのギャップが存在し、その大きさにギャップを埋める樹種が変わることがあることを理解する。	・病原体からからだを守るしくみ ・自然免疫 ・獲得免疫のしくみ ・獲得免疫の特徴 ・免疫と疾病 ・さまざまな植生 ・植物と環境 ・植生の遷移と環境 ・植生の破壊と遷移	【知識・技能】 ・物理的・化学的な防御と免疫の働きの違いを理解している。さらに、物理的・化学的な防御の具体例をあげることができる。 ・自然免疫の反応の流れを、樹状細胞、好中球、マクロファージの働きと関連づけて理解している。また、自然免疫によって炎症が起こることを理解している。 ・アレルギーについて理解している。また、アナフィラキシーショックについて理解している。 ・森林・草原・荒原の各植生の特徴を優占種と関連づけて理解している。 ・先駆種の特徴を理解し、遷移初期の環境と関連づけて遷移初期に先駆種が進入する理由を説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・好中球がどのように細菌を排除することができるのかを考察することができる。 ・1回目と2回目の抗原注射後の抗体産生量、および産生速度の違いを説明することができる。 ・日と見感染症にかかりやすくなるまでに長期間かかる理由を考察することができる。 ・光・光合成曲線を読み取ることができ、陽生植物と陰生植物のそれぞれについて、他方にとって生育に有利な光の強さがどの範囲であるかを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・病原体からからだを守るしくみの学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返りたりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 ・自然免疫、獲得免疫のしくみ、獲得免疫の特徴の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返りたりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 ・さまざまな植生、植物と環境の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返りたりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査・テスト返却			○	○		2
3学期	1. バイオームの概念を理解し、陸上にはその地域に生育する植物を基盤としたさまざまなバイオームが成立することを理解する。 ・現存するバイオームと、その地域における気温や降水量の分布に対応させた資料から、環境条件によって、遷移の結果として森林や草原、荒原など多様なバイオームがみられることを理解する。 ・地球上には、それぞれの場所に適応した植物が生育し、いろいろなバイオームが成立していることを理解する。 ・日本におけるバイオームの水平分布と垂直分布を理解し、各バイオームの特徴的な植物種を理解する。 2. 生態系とその保全 ・生態系の構成について理解する。 ・食物連鎖を通じて間接的に他の生物に影響を与えることがあることを理解する。 ・上位の栄養段階の生物を排除したときの、下位の生物の種数や生息密度の変化を示した資料から、捕食－被食の関係が種の多様性に与える影響について考察する。 ・キーストーン種によって生態系のバランスが保たれている場合があることを理解する。	・遷移とバイオーム ・日本のバイオームと生態系 ・生物どうしの関係 ・生物どうしの関係と種の多様性	【知識・技能】 ・森林、草原、荒原にみられるバイオームの種類やその特徴を十分に理解している。 ・生態系について理解している。さらに、ある生物にとっての環境とはどのようなものがあるかを理解している。 ・生産者と消費者について理解している。さらに、分解者についても理解している。 ・キーストーン種が他の生物の生活に大きな影響を与える種であることを理解している。さらに、キーストーン種の消失が種の多様性に及ぼす影響について、具体例とともに理解している。 ・ある生物が、直接的に捕食－被食の関係のない生物に影響を与える場合があることを理解している。さらに、その具体例をあげることができる。 【思考・判断・表現】 ・バイオームの分布と気候の違いを示した資料から、その地域のバイオームの形成には、年平均気温や年降水量が重要な要因となっていることを読み取り、遷移と関連づけて考察することができる。 ・森林の土壌動物の観察から、森林の土壌にはさまざまな種類の生物がみられることに気づくことができる。さらに、土壌生態系において、多様な生物の関わり合いがみられることに気づくことができる。 ・資料にもとづいて、イガイが増殖した要因を考察することができる。さらに、ヒトデが果たしている役割を考察することができる。 ・ラッコ、ウニ、ケルプの量の变化から、ケルプが減少した理由をラッコによるウニの捕食と関連づけて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・遷移とバイオーム、日本のバイオームと気候の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返りたりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 ・生態系の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返りたりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 ・生物どうしの関係、生物どうしの関係と種の多様性の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返りたりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査・テスト返却			○	○		2 合計 78

2 学 期	・粒子の数にもつづく量の表し方である物質量の概念を導入し、物質量と質量、物質量と気体の体積との関係について理解する。 ・化学反応に関する実験などを行い、化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見いだして理解する。	物質量と化学反応式 ①原子量・分子量と式量 ②物質量 ③溶解と濃度 ④化学変化と化学反応式 ⑤化学反応の量的関係 ⑥化学変化における諸法則	物質の構成粒子の質量の表し方として、原子量・分子量・式量を理解している。 物質量が粒子の数にもつづく量であることを理解し、物質量と質量、気体の体積との関係も理解している。 物質量を介して、物質の質量や気体の体積を相互に変換できる。 水溶液の濃度をモル濃度を用いて表したり、濃度のわかっている水溶液中の溶質の物質量を計算によって求めることができる。 化学変化と物理変化の違いを理解し、化学反応を化学反応式を用いて表すことができる。 物質量の概念で化学変化の量的関係を把握する方法を理解し、知識を身に付けている。 化学変化では、一定の量的関係が成り立つことを理解し、化学反応式をもとに物質の量的関係を判断できる。 観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い、結果を化学的に考察することができる。 化学反応の量的関係の実験から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。 学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	9
	定期考査・テスト返却	・		○	○		2
	・酸や塩基に関する実験などを行い、酸と塩基の性質および中和反応に関与する物質の量的関係について理解する。	酸と塩基の反応 ①酸と塩基 ②水素イオン濃度 ③中和と塩 ④中和滴定	酸と塩基の定義や分類を理解し、酸と塩基を価数や強弱にもとづいて分類することができる。 水溶液の性質(酸性・中性・塩基性)と水素イオン濃度やpHとの関係を理解し、知識を身に付けている。 中和反応について理解し、塩のなりたちや塩の水溶液の性質を理解している。 中和反応に関与する物質の量的関係を理解し、中和反応における酸と塩基の量的関係を計算によって求めることができる。 中和滴定の操作や中和滴定曲線を理解し、実験器具の適切な取り扱いやグラフの見方などの知識を身に付けている。 酸・塩基の観察、実験から共通性を見だし、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて考察できる。 中和滴定の実験を通して、それぞれの操作がどのような意味をもっているのかを理解し、実験結果に対してどのような影響があるかを考察できる。 酸、塩基や中和反応に関心をもち、それらを日常生活に関連付けて、意欲的に探究しようとする。 酸と塩基の反応の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。 学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	11
定期考査・テスト返却			○	○		2	
3 学 期	・酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。	酸化還元反応 ①酸化と還元 ②酸化剤と還元剤の反応 ③酸化還元の量的関係 ④金属のイオン化傾向 ⑤電池 ⑥金属の製錬 ⑦電気分解	酸化・還元の定義を理解し、知識を身に付けている。 酸化還元反応を酸化数の増減によって判断することができる。 酸化剤、還元剤のはたらきを理解し、半反応式をもとに酸化還元反応を組み立てることができる。 酸化還元反応の量的関係を理解している。 金属のイオン化傾向や金属の反応性を理解し、知識を身に付けている。 酸化還元反応の利用例として、電池や電気分解などがあることを理解し、電池の構成などの基本的な知識を身に付けている。 代表的な酸化剤・還元剤の観察から電子の授受としての規則性を見だし、自らの考えで表現できる。 観察、実験を通して、酸化・還元の定義と、酸化数の定義の有効性を理解し、それらをもとに事象・現象の中に共通性を見出し、酸化還元反応として論理的に考察できる。 燃焼、金属の溶解や腐食などの反応に興味をもち、電子の授受という観点から、それらを意欲的に探究しようとする。 酸化還元反応の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。 学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	15
	定期考査・テスト返却			○	○		2 合計 71

福生 高等学校 令和7年度（4学年用）		教科	理科	科目	物理基礎
教科：	理科	科目：	物理基礎	単位数：	2 単位
対象学年組：	第 4 学年 1 組				
教科担当者：					
使用教科書：	（ 第一学習社 高等学校 物理基礎 ）				
教科	理科	の目標：			

【知識及び技能】	物体の運動について理解するとともに、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目	物理基礎	の目標：	
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。		自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・物体の変位や速度などの表し方について、直線運動を中心に理解する。 ・直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を考えることができる。 ・物体の加速度を理解し、等加速度直線運動について式やグラフで考えることができる。	第1節 物体の運動 ①速度 ②加速度	変位、速度、加速度の基本的な物理量の定義を理解し、それぞれを式で表すことができる。 速度の合成や、相対速度に関する現象を観察し、それぞれを式で表すことができる。 等加速度直線運動の特徴を踏まえ、関係式を導くことができる。 記録タイマーの使い方を理解し、得られた打点結果から加速度を求めることができる。 落下する物体の運動は、鉛直下向きの加速度をもつ等加速度運動であることを理解する。 $x-t$ グラフや $v-t$ グラフから、物体の位置や速度を的確に読み取ることができる。 変位、速度、加速度の違いを理解し、それぞれの関係を式で表し、求めることができる。 物体の位置と時間などの関係をもとに、 $x-t$ グラフや $v-t$ グラフ、 $a-t$ を描くことができる。 変位、速度、加速度を用いて、さまざまな物体の運動を説明することができる。	○	○	○	8
	・物体が空中を落下するときの運動を調べ、その特徴を理解する。 ・自由落下や鉛直投射について、式やグラフを用いて考えることができる。	③落下運動	落下運動の特徴を理解し、式やグラフを用いて表現できる。 身のまわりの物体の運動に関心を示し、位置や変位、速度を理解しようとする。 速度が変化する日常での事象について意欲的に考え、加速度とはどのような物理量であるかを考察しようとする。 斜面を下る力学台車の加速度の測定など、積極的に実験に取り組んでいる。 物体が落下するときのようすなどに関心をもち、それらの現象を物理的に考えようとする。	○	○	○	13
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	・物体にさまざまな力がはたらくことを理解する。 ・物体にはたらく力の合成・分解をベクトルを用いて扱い、つりあいについて理解を深める。 ・作用・反作用の法則を扱い、つりあう2力との違いを理解する。 ・運動の3法則について、観察や実験を通して理解する。 ・運動方程式の立て方について学習し、さまざまな運動状態における運動方程式の立て方を理解する。 ・摩擦の特徴を理解し、それを含めた運動について理解する。 ・水圧と浮力の関係について理解する。	力と運動の法則 ①さまざまな力 ②力の合成・分解とつりあい ③運動の3法則 ④運動方程式の利用 ⑤摩擦力を受ける運動 ⑥液体や気体から受ける力	力の表し方とともに、さまざまな力のはたらき方を理解する。 質量と重さの違いを理解し、重力、弾性力を計算することができる。 力の合成・分解を踏まえ、力のつりあいを考えることができる。 ばねばかりを用いて、はたらく力の大きさを測定できる。 作用・反作用とつりあう2力とを区別することができる。 さまざまな運動状態における物体について、運動方程式を立てることができる。 摩擦力や空気抵抗を含めた運動について、運動方程式を立てて考察することができる。 力のベクトルの性質を踏まえ、つりあいの式を考えることができる。 つりあう2力と作用・反作用の2力の違いを説明できる。 さまざまな状態にある物体について、はたらく力を図示することができる。 日常での経験と照らし合わせて力のはたらきを観察し、物理学的に理解しようとする。 力のつりあいや作用・反作用の法則を確認する実験などに意欲的に取り組んでいる。 力と質量と加速度の間にどのような関係があるかを予想し、主体的に実験に取り組んでいる。 摩擦力や浮力など、さまざまな力を含めた物体の運動について、物理学的に理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査・テスト返却			○	○		2

2 学 期	・仕事、仕事の原理、仕事率を学習し、物理における「仕事」について理解する。 ・運動エネルギーと仕事の関係について、式を用いて理解する。 ・位置エネルギー、保存力を学習し、仕事と関連づけてそれぞれを理解する。 ・力学的エネルギーの保存について実験などを通して学習し、法則が成り立つ条件とともに理解する。	仕事と力学的エネルギー ①仕事と仕事率 ②運動エネルギー ③位置エネルギー ④力学的エネルギー 探究4 動摩擦係数がする仕事と動摩擦係数	物理における仕事、仕事率を計算することができる。 運動エネルギーの大きさを計算し、物体がされた仕事との関係についても式を用いて計算できる。 位置エネルギーを計算することができる。 保存力の特徴を学習し、位置エネルギーとの関係について理解する。 力学的エネルギー保存の法則導くことができ、式を立てることができる。 物理における仕事の特徴を理解し、さまざまな力がする仕事を考えることができる。 運動エネルギーを仕事と関連づけて理解し、両者の関係を説明することができる。 さまざまな状態における物体の位置エネルギーを考えることができる。 種々の物体の運動について、力学的エネルギー保存の法則を適用することができる。 力学的エネルギーが保存されない場合の運動も、式を用いて考えることができる。 日常における仕事との違いに留意し、物理における仕事について理解しようとする。 中学校の学習内容を振り返り、運動エネルギー、位置エネルギーについて意欲的に考えようとする。 運動エネルギーと位置エネルギーの両者から、エネルギーについて成り立つ関係を主体的に導出しようとする。 力学的エネルギー保存の法則に関連させ、振り子の速さの測定などの実験に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	9
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	・熱運動、セルシウス温度、絶対温度を学習し、温度について理解する。 ・熱と熱量を学習したのち、熱平衡、比熱、熱容量、熱量の保存、潜熱について理解する。 ・熱量の保存を利用し、物質の比熱を測定する。 ・熱と仕事が同等であることを学習し、内部エネルギー、熱力学の第1法則を理解する。 ・熱機関と熱効率を学習し、可逆変化と不可逆変化について理解する。 ・さまざまなエネルギーの移り変わりを学習したのち、エネルギーの保存について理解する。	熱とエネルギー ①熱と温度 ②エネルギーの変換と保存	1) 熱運動と温度との関係を理解する。 (2) セルシウス温度と絶対温度の関係の式を用いて理解する。 (3) 熱容量と比熱の関係を学習し、熱量の保存についての式を立てることができる。 (4) 熱量計などを利用する熱量の保存に関する実験について、誤差を小さくするための正しい実験操作を実行できる。 (5) 物質の各状態における熱運動のようすを理解し、潜熱を計算することができる。 (6) 熱力学の第1法則を用いて、内部エネルギーの変化、外部とやりとりする仕事、熱を計算することができる。 (7) 熱機関のしくみを学び、熱効率を計算することができる。 (8) エネルギー保存の法則が常に成り立つことを理解する。 (9) セルシウス温度と絶対温度の違いを理解し、説明することができる。 (10) 温度の異なる物体を接触させたときに、熱がどちら向きに移動するかを考えることができる。 (11) 比熱と熱容量の違いを理解し、熱量の保存を利用して比熱などの測定をすることができる。	○	○	○	11
定期考査・テスト返却			○	○		2	
3 学 期	・摩擦電気を通して電気現象の原因となる電荷を学習し、帯電のしくみについて理解する。 ・電流や電圧とは何かを学習し、オームの法則について理解する。 ・ニクロム線などの物質の抵抗と形状の関係について測定し、抵抗率を導入する。 ・導体の抵抗率が温度変化によってどのように変化するかを理解する。 ・抵抗の直列接続、並列接続における特徴を踏まえ、合成抵抗を理解する。 ・ジュールの法則を扱い、電力量と電力について理解する。	静電気と電流 ①静電気 ②電流と抵抗 ③電気エネルギー	物体の帯電した電気量から、移動した電子の数を計算できる。 移動する電荷の大きさから、電流の大きさを計算できる。 オームの法則を用いて、電流、電圧、抵抗のそれぞれの量を求めることができる。 物質の抵抗と太さや長さとの関係を理解し、式で表すことができる。 直列接続、並列接続における合成抵抗の式を導くことができる。 ジュール熱、電力量や電力を計算することができる。 電気回路の実験において、電流計と電圧計を接続することができる。 物体が帯電するしくみを説明することができる。 オームの法則について理解し、電流と電圧の関係を表すグラフから、抵抗を読み取ることができる。 長さや太さの異なる物質の抵抗を測定し、長さ、太さとの間にどのような関係があるかを考察する。 導体の温度の高低による電流の流れやすさを考えることができる。 抵抗が直列・並列に接続された回路において、合成抵抗や電流、電圧を求めることができる。	○	○	○	15
	定期考査・テスト返却			○	○		2
						合計	78

福生 高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（ 大修館保健体育 701 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- 【思考力、判断力、表現力等】種目の特性を把握し、自己に適したプレイに努める・応援や準備片付けに努める。
- 【学びに向かう力、人間性等】学習に主体的に取り組めるようにする。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
それぞれの種目をできるようにする。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができるようにする。種目に必要な技術を継続して行うことができる。	ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でより良く、生徒各自が適切な判断をとり行動できるようにする。	学習に主体的に取り組むことができるようにする。相手や審判を尊重するなどフェアプレイを大切にして行動することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	授業のマナー・ルール等の説明と厳守させる。	オリエンテーション ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	2
	授業のマナー・ルール等の説明と厳守させる。主体的な学ぶ姿勢。	体力テスト ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	6
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切にして行動する。	バドミントン ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	10
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切にして行動する。	バスケットボール ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	10
2 学 期	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切にして行動する。	硬式テニス ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	14
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切にして行動する。	男子：サッカー 女子：バレーボール	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	14
3 学 期	日常生活における基礎体力を身に付けさせる。生涯にわたって継続できる運動の選択肢を増やす。	持久走（男子3キロ女子2.4キロ） ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	12
	運動生理学の基礎知識を習得させる。生涯にわたって継続できる運動の選択肢を考える。	体育理論	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	2
							合計 70

福生 高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書： （ 大修館保健体育 701 ）

- 教科 保健体育 の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】保健について理解することができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】保健的考え方について、関わる原則や概念を基に整理したり探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】主体的に関わり、保健的に探究しようとする態度を養う。

科目 保健	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
保健の発展の人間生活への貢献。身近な事物・現象を通しての現代の関連性についての知識を身につけ、これからの保健と人間生活のあり方について理解する。保健的に探究する方法を身につける。	保健的に思考し、判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。
【学びに向かう力、人間性等】	保健的な視点・考察力を養うとともに、保健について主体的に学ぼうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。健康を成り立たせている要因について例をあげて説明することができる。	健康の考え方と成り立ち	関心・意欲・態度・知識・理解・出欠・定期 考査・提出物を総合的に評価する。	○	○	○	2
	わが国の健康水準の変化とその背景について説明することができる。わが国の現在の健康問題例をあげて説明することができる。生活習慣病の種類と要因について説明することができる。また、生活習慣病の一次予防、二次予防について例をあげて説明することができる。	私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復	関心・意欲・態度・知識・理解・出欠・定期 考査・提出物を総合的に評価する。	○	○	○	2
	癌の一次予防と二次予防について例をあげて説明できる。癌の主な治療法や緩和ケアについて説明できる。	がんの原因と予防 がんの治療と回復	関心・意欲・態度・知識・理解・出欠・定期 考査・提出物を総合的に評価する。	○	○	○	4
	健康と運動の関係について説明できる。目的に応じた健康的な運動の仕方について例をあげて説明することができる。	運動と健康	関心・意欲・態度・知識・理解・出欠・定期 考査・提出物を総合的に評価する。	○	○	○	2
2 学 期	健康と食事の関係について説明できる。健康的な食事の取り方について説明することができる。健康と休養の関係および適切な休養の取り方について説明できる。健康と睡眠の関係および健康によい睡眠の取り方について説明できる。喫煙者やその周囲の人におこる害について説明できる。	食事と健康 休養・睡眠と健康 喫煙と健康	関心・意欲・態度・知識・理解・出欠・定期 考査・提出物を総合的に評価する。	○	○	○	8
	①飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例をあげて説明することができる。②薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策について例をあげて説明することができる。③精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。④現代社会における精神保健の課題をあげるすることができる。⑤精神疾患の治療について例をあげて説明できる。精神疾患の適切な治療薬や回復のためにはどのような社会環境が必要か説明できる。	①飲酒と健康 ②薬物乱用と健康 ③精神疾患の特徴 ④精神疾患の予防 ⑤精神疾患からの回復	関心・意欲・態度・知識・理解・出欠・定期 考査・提出物を総合的に評価する。	○	○	○	12
3 学 期							合計
							30

福生 高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書： （ 大修館保健体育 701 ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

【思考力、判断力、表現力等】種目の特性を把握し、自己に適したプレイに努める・応援や準備片付けに努める。

【学びに向かう力、人間性等】学習に主体的に取り組めるようにする。

科目 体育 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	それぞれの種目をできるようにする。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができるようにする。種目に必要な技術を継続して行うことができる。	ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でより良く、生徒各自が適切な判断をとり行動できるようにする。	学習に主体的に取り組むことができるようにする。相手や審判を尊重するなどフェアプレイを大切にして行動することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	授業のマナー・ルール等の説明と厳守させる。	オリエンテーション ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	2
	授業のマナー・ルール等の説明と厳守させる。主体的な学ぶ姿勢。	体力テスト ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	6
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重してフェアプレイを大切にし行動する	バドミントン ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	14
	武道の基礎である礼儀作法と受け身を習得する。仲間と協力して武道の理解を深める	武道（柔道の礼儀作法と受け身） ※男子	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	4
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重してフェアプレイを大切にし行動する	バスケットボール ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	14
2 学 期	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切にして行動する。	硬式テニス ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	15
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切にして行動する。	男子：ソフトボール 女子：卓球	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	15
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切にして行動する。	男子：サッカー 女子：バレーボール	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	15
3 学 期	日常生活における基礎体力を身に付けさせる。生涯にわたって継続できる運動の選択肢を増やす。	持久走（男子3キロ、女子2キロ） ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	12
	運動生理学の基礎知識を習得させる。生涯にわたって継続できる運動の選択肢を考える。	体育理論	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	4
							合計 101

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。現代社会における精神保健の課題をあげることができる。精神疾患の治療について例をあげて説明できる。精神疾患の適切な治療薬や回復のためにはどのような社会環境が必要か説明できる。	精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復	関心・意欲・態度・知識・理解・出欠・定期 考査・提出物を総合的に評価する。	○	○	○	6
	意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。 ・健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる。ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について説明できる。	健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり	関心・意欲・態度・知識・理解・出欠・定期 考査・提出物を総合的に評価する。	○	○	○	4
2 学 期	ライフステージと健康の関連について説明できる。各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。性意識の男女差について例をあげて説明できる。性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。	ライフステージと健康 思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康	関心・意欲・態度・知識・理解・出欠・定期 考査・提出物を総合的に評価する。	○	○	○	12
3 学 期	加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。働くことの意義と健康とのかわりについて説明できる。働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。余暇を積極的にとることの意義について説明できる。	中高年期と健康 働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	関心・意欲・態度・知識・理解・出欠・定期 考査・提出物を総合的に評価する。	○	○	○	8
							合計
							30

福生 高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（ 大修館保健体育 701 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- 【思考力、判断力、表現力等】種目の特性を把握し、自己に適したプレイに努める・応援や準備片付けに努める。
- 【学びに向かう力、人間性等】学習に主体的に取り組めるようにする。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
それぞれの種目をできるようにする。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができるようにする。種目に必要な技術を継続して行うことができる。	ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でより良く、生徒各自が適切な判断をとり行動できるようにする。	学習に主体的に取り組むことができるようにする。相手や審判を尊重するなどフェアプレイを大切にして行動することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	授業のマナー・ルール等の説明と厳守させる。	オリエンテーション ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	2
	授業のマナー・ルール等の説明と厳守させる。主体的な学ぶ姿勢。	体力テスト ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	6
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切にして行動する。	バドミントン ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	10
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切にして行動する。	バスケットボール ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	10
2 学 期	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切にして行動する。	硬式テニス ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	14
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切にして行動する。	男子：サッカー 女子：バレーボール	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	14
3 学 期	日常生活における基礎体力を身に付けさせる。生涯にわたって継続できる運動の選択肢を増やす。	持久走（男子3キロ、女子2キロ） ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	12
	運動生理学の基礎知識を習得させる。生涯にわたって継続できる運動の選択肢を考える。	体育理論	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	2
							合計 70

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	授業のマナー・ルール等の説明と 厳守させる。	オリエンテーション ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を 総合的に評価する	○	○	○	2
	授業のマナー・ルール等の説明と 厳守させる。主体的な学ぶ姿勢。	体力テスト ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を 総合的に評価する	○	○	○	6
	種目に必要な技術を継続して行う ことができる。戦術やゲーム中に 適切に判断し発揮することができ る。仲間や相手、審判を尊重し フェアプレイを大切にして行動す る。	バドミントン ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を 総合的に評価する	○	○	○	10
	種目に必要な技術を継続して行う ことができる。戦術やゲーム中に 適切に判断し発揮することができ る。仲間や相手、審判を尊重し フェアプレイを大切にして行動す る。	第1回種目選択制 ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を 総合的に評価する	○	○	○	10
2 学 期	種目に必要な技術を継続して行う ことができる。戦術やゲーム中に 適切に判断し発揮することができ る。仲間や相手、審判を尊重し フェアプレイを大切にして行動す る。	第2回種目選択制 ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を 総合的に評価する	○	○	○	14
	種目に必要な技術を継続して行う ことができる。戦術やゲーム中に 適切に判断し発揮することができ る。仲間や相手、審判を尊重し フェアプレイを大切にして行動す る。	第3回種目選択制 ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を 総合的に評価する	○	○	○	14
3 学 期	日常生活における基礎体力を身に 着けさせる。生涯にわたって継続 できる運動の選択肢を増やす。	持久走（男子3キロ、女子2キロ） ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を 総合的に評価する	○	○	○	8
							合計 64

福生 高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教 科： 情報 科 目： 情報Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書： 情報Ⅰ 図解と実習－図解編／情報Ⅰ 図解と実習－実習編 ）

教科 情報 の目標：

【知 識 及 び 技 能】	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。
【思考力、判断力、表現力等】	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
【学びに向かう力、人間性等】	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報技術の基礎的な概念や原理・法則を理解し、コンピュータやネットワークなどを適切に操作・活用できる技能を身に付けること。プログラミングの基礎的な知識と技能を習得すること。	情報化が社会や生活に及ぼす影響を理解し、情報モラルを踏まえて適切に判断する力を養うこと。情報を適切に収集・処理・発信し、課題を発見・解決する力を育成すること。	情報技術を主体的に活用しようとする態度を養うこと。情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を育てること。情報モラルの理解を深め、情報を正しく安全に活用しようとする態度を養うこと。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・情報化が社会や生活に及ぼす影響を理解すること。 ・情報モラルの重要性を認識し、情報を適切に活用する態度を養うこと。	情報化の進展と情報社会 情報モラルと情報セキュリティ 著作権と肖像権	【知識・技能】情報化の進展による社会や生活への影響を理解し、情報モラルと情報セキュリティの重要性を十分に理解している。情報を適切に活用するための基礎的な知識と技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】情報モラルに基づき、情報社会における課題を発見し、適切に判断し論理的に表現できる。情報化のメリットとデメリットを多面的に捉え、自らの考えを表現できる。 【主体的な態度】情報社会の一員として、情報を正しく安全に活用しようとする主体的な態度があり、情報モラルの実践に努めている。情報社会の発展に寄与しようとする意欲がある。	○	○	○	15
	・情報の収集・整理・加工・発信の方法を理解し、適切に活用できる技能を身に付けること。 ・情報を主体的に活用しようとする態度と、課題解決力を育成すること。	情報の収集と整理 データベースとデータ処理 プレゼンテーションとマルチメディア表現	【知識・技能】情報の収集・整理・加工・発信の方法を確実に理解し、適切に活用できる技能を身に付けている。データベースの基本的な概念と操作方法を習得している。 【思考・判断・表現】様々な情報を適切に収集・処理・発信し、課題を発見・解決する力がある。情報の信頼性を適切に判断し、目的に応じて効果的に表現できる。 【主体的な態度】情報を主体的に活用し、課題解決に向けて粘り強く取り組もうとする態度がある。情報の重要性を認識し、情報を正しく扱おうとする姿勢がある。	○	○	○	15
2 学 期	・コンピュータの構成と機能、データの表現方法を理解すること。 ・2進数や16進数の原理を理解し、適切に操作できる技能を身に付けること。	コンピュータの構成と機能 2進数と16進数 文字とマルチメディアデータの表現	【知識・技能】コンピュータの構成と機能、データの表現方法を確実に理解し、2進数や16進数を適切に操作・活用できる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】データを適切に収集・処理・表現し、課題を発見・解決する力がある。データの特性を踏まえ、適切な表現方法を判断し、論理的に表現できる。 【主体的な態度】データを主体的に活用しようとする態度があり、課題解決に向けて粘り強く取り組む。データの重要性を認識し、データを正しく扱おうとする姿勢がある。	○	○	○	15
	・ネットワークの構成と通信の仕組みを理解すること。 ・セキュリティ対策の重要性を認識し、情報を安全に活用する態度を養うこと。	ネットワークの種類と構成 インターネットと通信の仕組み ネットワークセキュリティ対策	【知識・技能】ネットワークの構成と通信の仕組み、セキュリティ対策の重要性を確実に理解している。ネットワークを適切に活用するための基礎的な知識と技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】ネットワークを適切に活用し、セキュリティ上の課題を発見し、適切な対策を判断し論理的に表現できる。ネットワークの特性を踏まえ、安全性を多面的に評価できる。 【主体的な態度】情報セキュリティの重要性を深く理解し、情報を正しく安全に活用しようとする主体的な態度がある。ネットワークを適切に活用し、情報社会の発展に寄与しようとする意欲がある。	○	○	○	16
3 学 期	・プログラミングの基本的な概念と手順を理解すること。 ・フローチャートを用いてアルゴリズムを表現できる技能を身に付けること。	プログラミングの基礎 アルゴリズムとフローチャート プログラミング言語の基本	【知識・技能】プログラミングの基本的な概念と手順を確実に理解し、アルゴリズムをフローチャートで適切に表現できる技能を身に付けている。プログラミング言語の基礎的な文法を習得している。 【思考・判断・表現】プログラミングの基礎的な力を活用し、課題解決に向けたアルゴリズムを論理的に表現できる。プログラムの動作を予測し、適切に評価・改善できる。 【主体的な態度】プログラミングの楽しさを感じ取り、主体的にプログラミングに取り組もうとする態度がある。プログラミングを通して課題解決に粘り強く取り組む姿勢がある。	○	○	○	16
							合計
							77

都立福生高等学校定時制課程 令和7年度情報Ⅱ年間指導計画

教科：情報 科目：情報Ⅱ 対象：4学年

教科担当者：（1組： ）

使用教科書：高等学校 情報2（出版社：日本文教出版）

	指導 内容	指導内容 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4 月	4 月	オリエンテーション1	今後の学習を進めるにあたり、オリエンテーションをおこなう	意欲・表現・処理レポート
		オリエンテーション2と情報通信技術	オリエンテーションのつづき、アカウントの確認と情報通信技術について知る	意欲・表現・処理レポート
5 月	5 月	情報技術による社会や生活の変化1	コミュニケーションやコンテンツの変化について知る	意欲・表現・処理レポート
		情報技術による社会や生活の変化2	情報セキュリティについて知る	意欲・表現・処理レポート
6 月	6 月	情報社会における権利と法律	情報社会に関わる様々な法律について知る	意欲・表現・処理レポート
		コミュニケーションとコンテンツ1	コンテンツ制作のプロセスを知る	意欲・表現・処理レポート
7 月	7 月	レポート作成	レポートを作成しこれまでの学習の成果をまとめる	意欲・表現・処理レポート
		レポート返却	学習の成果を確認し、今後の学習につなげる	意欲・表現・処理レポート

8月	8月			
9月	9月	コミュニケーションとコンテンツ2	メディアプランニングについて知る	意欲・表現・処理レポート
		コミュニケーションとコンテンツ3	Webサイトの仕組みを知る	意欲・表現・処理レポート
		コミュニケーションとコンテンツ4	プロトタイプ作成の実習を行う	意欲・表現・処理レポート
10月	10月	情報データとサイエンス1	社会における情報システムを知る	意欲・表現・処理レポート
		情報データとサイエンス2	データ収集の手法について知る	意欲・表現・処理レポート
		情報データとサイエンス3	リレーショナルデータベースを知る	意欲・表現・処理レポート
11月	11月	情報システムのしくみ	社会における情報システムや処理の仕組みについて知る	意欲・表現・処理レポート
		システム開発の流れ	システム設計における表現方法について知る	意欲・表現・処理レポート
12月	12月	レポート作成	レポートを作成しこれまでの学習の成果をまとめる	意欲・表現・処理レポート
		レポート返却	学習の成果を確認し、今後の学習につなげる	意欲・表現・処理レポート

1 月	1 月	個人情報保護	個人情報保護について学 びそのリーフレットを作 成する	意欲・表現・処理レポート
		今までのまとめ	いままでの学習のまとめ をおこない、これからの 学習の指針を与える	意欲・表現・処理レポート
2 月	2 月			
3 月	3 月			

年間授業計画様式例

福生高等学校 令和7年度 教科 商業 科目ビジネス基礎 年間授業計画

教科 科： 商業 科 目： ビジネス基礎 単位数： 2単位
対象学年組： 第4学年1組)
教科担当者： (1組：) (○組：) (○組：) (○組：) (○組：) (○組：)
使用教科書： (7実教 商業701 ビジネス基礎 青島矢一)
使用教材： ()

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	商業の学習分野の内容や目指す能力、資格取得及び学習分野について指導する。 教材は手作りの教材（プリント）を使用する。	【知識及び技能】なぜ、商業科目を学ぶことが大切なのか、基礎的・基本的な知識を理解している。 【思考力、判断力、表現力 等】商業の学習分野と進路のかかわりを踏まえた学び方について、様々な角度から考察し、進路実現に向けての判断をさせる。 【学びに向かう力、人間性 等】様々な資料を活用して、客観的に把握させる。	【知識及び技能】進路のかかわりを踏まえた学び方について、学習と進路の結びつきの大切さを考える。 【思考力、判断力、表現力 等】進路のかかわりを踏まえた学び方について、関心を持たせ、調べさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】商業の資格取得の知識を知り、自らの進路実現に向けての計画を具体的に設計することが出来る。	4

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	経済を支える仕組みや経済主体の関係に関する知識を前提に理解している。	【知識及び技能】家計・企業・財政の関係について基礎的・基本的知識を身に付け、ビジネスの意義について理解している。 【思考力、判断力、表現力 等】ビジネスとは何か、経済とどのような関係なのかについて、様々なビジネスの例をあげながら考えさせる。 【学びに向かう力、人間性 等】ビジネスの役割について、事例をあげながらその共通点をまとめて説明することが出来るように指導する。	【知識及び技能】生産・流通・消費という経済を支える仕組みを経済主体としての家計・企業・財政の関係について基礎的・基本的知識を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力 等】経済を取り巻く環境の変化とビジネスの発展について説明することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行うためには、豊かな人間性や創造性が大切であることに気づき、自ら意欲的に身に付けようと努力する。	6

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	生産と消費の隔たりを結びつける流通の機能や仕組みについて基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。	【知識及び技能】流通とは何か、流通が果たす役割について基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力 等】流通の担い手である企業の携帯や経営組織の在り方を学ばせる。 【学びに向かう力、人間性 等】流通の機能やしぐみについて様々な資料を選択的に活用し、その変化を把握し説明させる。	【知識及び技能】生産者・卸売業・小売業・金融・保険業・運輸・通信業・サービス業など流通に関するビジネスの担当者について基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力 等】流通の担い手である企業の形態や経営組織とマーケティングに関する基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。 【主体的に取り組む態度】生産と消費の隔たりを結びつける流通の機能や仕組みについて関心を持たせ、流通の経済的特徴や環境の変化について調べさせる。	8

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	輸送方法の種類や小売業の種類について学ばせる。	【知識及び技能】 物流業者・金融機関・保険業者・情報通信業者・小売業者のビジネス活動について学習する。 【思考力、判断力、表現力 等】電子商取引の内容も同時に展開させる。 【学びに向かう力、人間性 等】市場と価格の関係についても理解させる。具体的市場と抽象的市場についても学習する。	【知識及び技能】 物流システムの種類・金融機関の役割と種類・保険業者や情報通信業者の役割について学ばせる。 【思考力、判断力、表現力 等】仕入原価。と売価の学習内容についても理解を深める 【主体的に学習に取り組む態度】 価格の自動調整機能及び需要と供給のバランス図についても理解させる。	6

		指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月		授業なし	授業なし	授業なし	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	売買の締結までの見積依頼書の作成・注文書の作成と履行する際の納品書・請求書の作成について指導する。	【知識及び技能】売買契約の成立や売買契約の条件と締結と履行などの売買取引の手順について、基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力 等】売買契約に関する書類の作成について、買い手と売り手の図を用いて指導する。 【学びに向かう、人間性 等】見積依頼書から請求書・領収証までの作成に関する練習問題を解かせて、生徒に発問し知識の定着をはかる。	【知識及び技能】売買契約の成立や売買条件及び締結と履行について様々な資料を活用して把握するとともに、売買取引の手順を正しく説明出来るように指導する。 【思考力、判断力、表現力 等】売買契約の成立や売買契約の条件及び締結と履行など売買取引の手順についての合理性から、売買契約の意義について考察出来るように指導する。 【主体的に学習に取り組む態度】売買契約の成立や売買取引の手順について、自ら意欲的に調べさせまとめさせる。	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	小切手と約束手形・為替手形を中心に指導する。	【知識及び技能】代金決済の方法について、支払用具の特色や利用方法などについて、基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力 等】代金決済の方法についてその使い分けの意味や合理性について考察出来るように指導する。 【学びに向かう人間性 等】代金決済の方法について関心を持たせ、自ら意欲的に調べたりまとめられるように指導する。	【知識及び技能】数の表示の方法と各種の計算について指導する。 【思考力、判断力、表現力 等】代金決済の方法について、支払用具の特色や利用法についてその使い分けの意味や合理性について指導する。 【主体的に学習に取り組む態度】代金決済の方法について小切手や手形を模擬的に作成させる。	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	企業活動について様々な会社組織を学習させる。	【知識及び技能】様々な企業の形態を学習させる。合名会社・合資会社・合同会社・株式会社について学習する。 【思考力、判断力、表現力 等】会社の形態の中で、無限責任と有限責任とは何かを理解させる。出資と経営の分離について学習する。株式による資金の調達や株主総会について理解させる。 【学びに向かう力、人間性 等】合名会社・合資会社・合同会社いわゆる持分会社についての例を示して、興味を持たせる。	【知識及び技能】各会社組織について、出資者・出資者の責任範囲・出資と経営の分離の有無を表形式にして理解させる。 【思考力、判断力、表現力 等】株式について説明し、配当や株主総会のことを理解させる。協同組合について具体的な例を用いて理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】それぞれの会社組織についての具体例を調べさせる。	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	マーケティングとは何かを理解させる。財務諸表の役割について理解させる。 企業活動の税金について理解させる。	【知識及び技能】 企業のマーケティング活動を学習し合わせて、財務諸表の役割や企業活動の税金についても触れる。 【思考力、判断力、表現力 等】マーケティングの2つの考え方である消費者志向や社会利益志向について理解させる。 【学びに向かう力、人間性 等】雇用についてハローワークの仕事や意義について、関心を持たせる。	【知識及び技能】 マーケティングの手順やマーケティングミックスについての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力 等】 貸借対照表や損益計算書の読み方について理解させる。特に報告式の損益計算書について理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業活動の税金について、国税・地方税や直接税・間接税について具体例を調べさせる。	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	度量衡や外国貨幣の換算の計算を最初に学習する。割合の計算について基準量と比較量を理解させる。	【知識及び技能】度量衡の計算や割合に関する計算、割増や割引にかんする計算方法を学習する。 【思考力、判断力、表現力 等】割合の表示方法には少数・％・分数・歩合の4つがあることを理解させる。 【学びに向かう力、人間性 等】電卓のメモリーや％キーの操作に習熟させる。	【知識及び技能】電卓の計算に習熟させる 【思考力、判断力、表現力 等】教科書の計算式の意味を教え、割合の基準量の表示は1とし表現の仕方には100％・10割があることを学習する。 【主体的に取り組む態度】全商珠算電卓実務検定試験の問題を解かせて知識の定着をはかる。	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	予定売価（定価）や実売価の計算について指導する。	【知識及び技能】仕入原価の計算・販売価格の計算について指導する。 【思考力、判断力、表現力 等】仕入原価の計算・販売価格の計算について公式を理解させる。 【学びに向かう力、人間性 等】生徒に簡単な問題を解かせて発問する。	【知識および技能】仕入原価から予定売価（定価）を計算させ、実売価の計算について一連の問題を使って指導する。 【思考力、判断力、表現力 等】予定売価（定価）の計算や実売価の計算の公式を理解させ、実際に式を書かせる。 【主体的に学習に取り組む態度】全商珠算電卓実務検定試験の問題を解かせて知識の定着をはかる	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	手形割引の計算のやり方を理解させる。単利法と複利法の計算のやり方を理解させる。	【知識および技能】手形の割引日数の計算には片落としと両端入れの2通りがあることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力 等】単利法と複利法・手形割引の計算方法について公式を理解させる。 【学びに向かう力、人間性 等】生徒に簡単な問題を解かせて発問する。	【知識と技能】単利法と複利法・手形割引の計算の方法について公式を例題を使って理解させる。 【思考力、判断力、表現力 等】割引日数の計算で片落としと両端入れの考え方について説明する。 【主体的に取り組む態度】全商珠算電卓実務検定試験の問題を解かせて知識の定着をはかる。	

福生 高等学校 令和7年度（2学年用）教科 家庭科 科目 家庭総合

教科： 家庭科 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書： （ 家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍 家総701） ）

教科 家庭科 の目標：

【知識及び技能】 生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解している

【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとしている。

科目 家庭総合	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解している	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を身に付けている。
【学びに向かう力、人間性等】	【思考力、判断力、表現力等】
	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	家庭科の学び方を知る。 キャリアを見つめる。	・家庭科で何を学び、どのような学習活動をしていくかを知る。 ・家庭科の学習が、家族、社会との共生・生活の自立、生活の創造につながることを理解する。	【知識及び技能】 家庭科の学習内容や自身のキャリアを築くこととの関連について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭科の学習がキャリア形成につながることにについて考えを深め、これから始まる学習に対する目標を実現している。 【学びに向かう力、人間性等】 家庭科の学習内容と自身のキャリアを築くことに関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	自分らしい人生を作る。	・各ライフステージの特徴と課題を理解する。 ・生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つめる。 ・家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。	【知識及び技能】 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分を見つめ、肯定的な自己概念を持ち、自分の人生や進路について考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯発達の考え方に立ち、青年期の課題について具体的に考えようとしている。	○	○	○	10
	住生活を作る。	・住居の機能を考える。 ・ライフステージに合った住居を考える。 ・バリアフリーの考え方を理解する。	【知識及び技能】 住居の機能、住空間の計画、住環境など、安全で快適な住まいについて科学的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ライフスタイルや価値観に応じた、生命と健康を守るための暮らしの在り方について考え、工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 安全で快適な住まい方や住環境について考えようとしている。	○	○	○	10
2 学 期	ホームプロジェクトの発表	・ホームプロジェクトの発表を通して、生活課題を発見する視点やその課題を解決するための手立てについて理解を深める。	【知識及び技能】 ホームプロジェクトの実践や振り返りに必要な知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生活上の課題を見だし、その解決を目指して科学的に探究し、成果と課題を取りまとめて発表している。 【学びに向かう力、人間性等】 ホームプロジェクトに関心をもち、主体的に学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	12
	食生活を作る	・日常の食生活を振り返り、食生活の変化や課題について理解する。 ・日常的な食品の栄養的特質について理解する。 ・青年期の食事の重要性を理解する。	【知識及び技能】 栄養・食品・調理及び食品衛生など、食事と健康との関わりについて科学的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の食生活の課題や食事の意義について思考を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の家族や食生活、地域の食文化に関心を持ち、食生活と健康のかかわりを考えて居る。	○	○	○	12
3 学 期	高齢社会を生きる。	・高齢社会の現状と課題を理解する。 ・高齢者を支援する方法を具体的に学ぶ。 ・身近な高齢者とのふれあいの機会を増やす。	【知識及び技能】 高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者や高齢者を取り巻く社会について、具体的に課題を見だし、その解決を目指して思考を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活などについて関心を持ち、高齢期の生活について考えようとしている。	○	○	○	18
							合計 70

芸術 **科目** **音楽 I**

单位数：2 单位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高校生音楽 1（教育芸術社） ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深め、表現意図を音楽で表すために必要な技能を身に着ける

【思考力、判断力、表現力等】音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、音楽の表現内容を解釈する。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、音楽文化の継承・発展・創造に寄与する。

科目 音樂 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深める	音楽に関する専門的な知識や技能を働かせ、音楽の表現内容を解釈する。	主体的な音楽に関する専門的な学習に取り組み、音楽文化の継承・発展・創造に寄与する。

[illegible]

芸術 **科目** **美術 I**

科目：美術 I

单位数：2 单位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高校生美術Ⅰ（日文） ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深め、独創的・創造的に表すことができるようにする

【思考力、判断力、表現力等】美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力・判断力・表現力等を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承・発展・創造に寄与する。

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深め、独創的・創造的に表すことができるようにする	美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力・判断力・表現力等を育成する。	主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承・発展・創造に寄与する。

[illegible]

芸術 **科目** **美術Ⅱ**

教科：藝術

科目：美術Ⅱ

单位数：

單位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高校生美術Ⅱ（日文） ）

教科 芸術

の目標：

【知 識 及 び 技 能】美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深め、独創的・創造的に表すことができるようにする

【思考力、判断力、表現力等】美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力・判断力・表現力等を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承・発展・創造に寄与する。

科目 美術Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深め、独創的・創造的に表すことができるようにする	美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力・判断力・表現力等を育成する。	主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承・発展・創造に寄与する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・ 彫	デ	映						
1 学 期	オリエンテーション ことばのイメージ	アイデアスケッチ 本編の紙に書く① 本編の紙に書く② 本編の紙に書く③ 本編の紙に書く④	○				【知識及び技能】 色の塗り方 【思考力・判断力・表現力】 ポスターカラーを使い、独自の表現を見せる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に作品に取り組む	○	○	○	14
	砂絵	アイデアスケッチ 本編の紙に書く① 本編の紙に書く② 本編の紙に書く③ 砂をまく① 砂をまく②	○			○	【知識及び技能】 砂のまき方 【思考力・判断力・表現力】 砂絵でどれだけ独自の表現を見せたか 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に作品に取り組む	○	○	○	14
2 学 期	彫刻	アイデアスケッチ 石に写す 彫る	○			○	【知識及び技能】 彫刻の技術を学び、丁寧に完成させる。 【思考力・判断力・表現力】 道具を使い、独自の表現を見せる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に作品に取り組む	○	○	○	16
	切り絵	アイデアスケッチ 切り絵版に写す 切る① 切る② 切る③ 切る④	○			○	【知識及び技能】 切り絵の技術を学び、丁寧に完成させる。 【思考力・判断力・表現力】 切り絵で独自の表現を見せる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に作品に取り組む	○	○	○	14
3 学 期	版画	アイデアスケッチ アクリル板に写す ニードルで彫る① ニードルで彫る② ニードルで彫る③ 刷る	○			○	【知識及び技能】 版画の技術を学び、丁寧に完成させる。 【思考力・判断力・表現力】 道具を使い、独自の表現を見せる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に作品に取り組む	○	○	○	14
	絵画	空想画を描く① 空想画を描く②	○			○	【知識及び技能】 空想画の技術を学び、丁寧に完成させる。 【思考力・判断力・表現力】 空想画で独自の表現を見せる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に作品に取り組む	○	○	○	6
											合 計
											78

総合	科目	総合的な探求の時間
----	----	-----------

單位數： 1 單位

使用教科書： なし

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】探求に主体的に取り組み、互いの良さを生かし、新たな価値を創造する。

科目 総合的な探求の時間 の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 ・総合のガイダンスと1学期の目標 ・基礎学力の確認	・総合について ・1学期の目標を書かせる。 ・高等学校で必要とされる基礎学力を身に付けさせる。	【知識・技能】 基礎的な知識・技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 今年度の目標を考え、書かせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1学期の実現可能な目標を考えているか	○	○	○	3
	単元 ・基礎学力の確認 ・テストに対する取り組みについて	・高等学校で必要とされる基礎学力を身に付けさせる。 ・テストの取り組み方・勉強方法について考えさせる。	【知識・技能】 基礎的な知識・技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 テストへの取り組み方を考え、文章にまとめさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テストの勉強内容について計画的に取り組んでいるか。	○	○	○	4
	単元 ・文章理解について	・短い文章を読み、それについての自分の考えを書く。	【知識・技能】 漢字・語学の知識 【思考・判断・表現】 文書を読み、自分の考えをまとめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の考えをまとめる際に意欲的に取り組む。	○	○	○	4
	単元 ・数学の復習	・中学時代の数学の復習を行う。 ・文章題の問題を解き、数学力・文章を読み解く力を身につける。	【知識・技能】 ・基礎的な計算力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・文章を読み解く力を身に着ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲的に授業に取り組む。	○	○	○	3
2 学 期	単元 ・マナーについて ・服装について	・敬語について学ぶ ・進路活動を行う際の身だしなみについて学ぶ	【知識・技能】 敬語の知識・身だしなみの知識 【思考・判断・表現】 敬語がなぜ必要なのかを考える正しい服装について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 TPOをわきまえた服装について積極的に学ぼうとしている。	○	○	○	4
	単元 ・文章理解について	・短い文章を読み、それについての自分の考えを書く。	【知識・技能】 漢字・語学の知識 【思考・判断・表現】 文書を読み、自分の考えをまとめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の考えをまとめる際に意欲的に取り組む。	○	○	○	4
	単元 ・数学の復習	・中学時代の数学の復習を行う。 ・文章題の問題を解き、数学力・文章を読み解く力を身につける。	【知識・技能】 ・計算力 【思考・判断・表現】 ・文章を読み解く力を身に着ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲的に授業に取り組む。	○	○	○	4
	単元 ・自分の進路について ・2学期の振り返り	・自らの進路について考える。 ・2学期の振り返りを表にまとめて発表する。	【知識・技能】 自らの将来の適性を知る力 【思考・判断・表現】 自らの将来の適性をまとめる力 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の考えをまとめる際に意欲的に取り組む。	○	○	○	3
3 学 期	単元 ・3学期の目標 ・文章理解について	・3学期の目標をたて、ワークシートに書かせる。 ・2学期よりも長い文章を読み、それについて自分の考えを書く。	【知識・技能】 漢字・語学の知識 【思考・判断・表現】 文書を読み、自分の考えをまとめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の考えをまとめる際に意欲的に取り組む。	○	○	○	3
	単元 ・最近のニュースについて	・最近の気になるニュースをまとめさせ、発表させる。	【知識・技能】 最近のニュースを知る力 【思考・判断・表現】 最近のニュースについてまとめ、発表する。 【主体的に学習に取り組む態度】 発表を自分の力でまとめていく。	○	○	○	4
	単元 ・プレゼンテーション ・1年間の振り返り	・1年間で印象に残ったことをまとめ、3分間スピーチを行う。	【知識・技能】 プレゼンテーションの内容をまとめる。 【思考・判断・表現】 3分間スピーチの内容を考え、まとめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 3分間スピーチに対して主体的に行う。	○	○	○	3

合計
39

福生 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科		総合	科目	総合的な探究の時間
教 科： 総合的な探究の時間	科 目： 総合的な探究の時間	単位数： 1	単位	
対象学年組： 第 3 学年 1 組				
教科担当者：				
使用教科書： 人間としての在り方生き方に関する教科				
教科 0	の目標：			

教科 0

の目標：

【知識及び技能】私たちが生きる社会で求められる力を学ぶ。

【思考力、判断力、表現力等】私たちが生きる社会に必要な力を学び、表現する。

【学びに向かう力、人間性等】私たちが生きる社会に必要な力を学ぶために取り組む。

科目 総合的な探求の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
私たちが生きる社会で求められる力を学ぶ。	私たちが生きる社会に必要な力を学び、表現する。	私たちが生きる社会に必要な力を学ぶために取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 ・総合のガイダンスと1学期の目標 ・最近のニュースについて	・総合について ・1学期の目標を書かせる。 ・最近の気になるニュースをまとめさせる。	【知識・技能】 最近のニュースを知る力 【思考・判断・表現】 最近のニュースについてまとめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 最近のニュースを自らの視点でまとめさせる。	○	○	○	2
	単元 ・働くことの意義 ・職業及び進路選択のための体験活動	・社会において働くことの意義を考え、自分自身の職業適性も考えさせる。	【知識・技能】 社会で働く意義について学ぶ。 【思考・判断・表現】 社会で働く意義について学び、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会で働く意義を自ら学ぼうとしている。	○	○	○	4
	単元 ・人命救助のための体験学習 ・ネット時代	・AED使用体験学習 ・ネット上のSNS利用に際して必要な知識とルールやマナーなど不可欠なことを学ばせる。	【知識・技能】 日本の災害の実情と備えについて知る。 【思考・判断・表現】 災害が起きた時の対策方法について考えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 災害が起きた際に自分ができることを考えている。	○	○	○	4
	単元 ・交通安全の必要性 ・奉仕体験活動	・交通安全講習	【知識・技能】 交通安全で気を付ける点を学ぶ 【思考・判断・表現】 交通安全で注意すべき点を考え、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 交通安全で注意すべき点を意識し、自覚する。	○	○	○	2
2 学 期	単元 ・将来の進路について	・自分の適性について講師を招き、ワークショップを実施する。	【知識・技能】 世の中の職業について学んでいる。 【思考・判断・表現】 自分の適正について考え、発表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の将来に関して主体的に学んでいる。	○	○	○	4
	単元 ・修学旅行の調べ学習	・修学旅行の行き先を調べ、行き先の文化を学ばせる。	【知識・技能】 修学旅行先の知識について学んでいる。 【思考・判断・表現】 修学旅行の行き先について調べて発表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 修学旅行の調べ学習に対して主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	単元 ・薬物の問題点の理解	・講演活動を開き、薬物の危険性について学ぶ。	【知識・技能】 薬物の恐ろしさを学んでいる。 【思考・判断・表現】 薬物の危険性と避け方を考え、まとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 薬物の危険性を自ら学ぼうとしている。	○	○	○	4
	単元 ・主権者教育	・主権者教育の講師の方を招き、投票の意義と重要性について理解する。	【知識・技能】 投票のやり方について学んでいる。 【思考・判断・表現】 投票の意義について学び、まとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主権者の意識を自ら高めようとしている。	○	○	○	4
3 学 期	単元 ・3学期の目標 ・多文化社会について考える。	・聴覚障害の方を招き、点字・手話を体験させ人生観や価値観などの判断基準を形成できるように考えさせる。	【知識・技能】 点字・手話の内容を学んでいる。 【思考・判断・表現】 授業で学んだ内容をまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 聴覚障害の方の人生観や価値観を自ら学び取ろうとしている。	○	○	○	2
	単元 ・将来の進路について	・将来の進路に即した学習を行う。	【知識・技能】 世の中の職業について学んでいる。 【思考・判断・表現】 自分の適正について考え、発表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の将来に関して主体的に学んでいる。	○	○	○	3
	単元 ・学習成果のまとめと発表 ・1年間の振り返り	・1年間の学習で学んだことをまとめて発表する。	【知識・技能】 1年間で学んだ知識を理解している。 【思考・判断・表現】 1年間で学んだ内容をまとめ、発表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 1年間で学んだ内容を積極的にまとめている。	○	○	○	2
							合計
							35